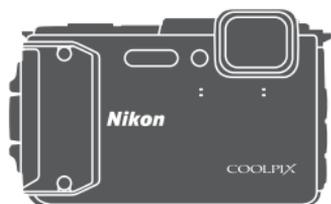


Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX AW130



活用ガイド

はじめに	➡ i
目次	➡ xxii
各部の名称	➡ 1
撮影の準備	➡ 6
撮影と再生の基本操作	➡ 12
いろいろな撮影	➡ 21
いろいろな再生	➡ 59
動画の撮影と再生	➡ 71
メニューを使う	➡ 78
位置情報機能を使う/地図を表示する	➡ 132
Wi-Fi（無線LAN）を使う	➡ 146
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	➡ 150
付録	➡ 159

はじめに

はじめにお読みください

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(☞v~xi)、「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(☞xii)、「<重要>位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス)についてのご注意」(☞xviii)、および「Wi-Fi(無線LAN)機能について」(☞xx)をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

- すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影の準備」(☞6) および「撮影と再生の基本操作」(☞12)をご覧ください。

本書の記載について

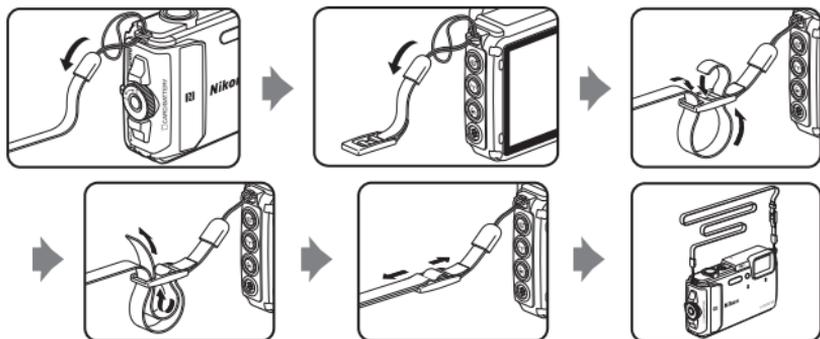
- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
☞	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

陸上専用ストラップの取り付け方

陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。



ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のウェブサイトから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

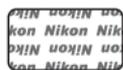
●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.nikon-image.com/support/manual/>
 ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（メモリーカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、位置情報設定メニュー（□78）の [位置情報設定] の [位置情報記録機能] を [しない] にしてから、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

メモリーカードに保存したログデータの扱いは、メモリーカード内の他のデータと同じです。メモリーカードに未保存の取得済みデータは、[ログ取得] → [全ログ取得終了] → [ログ消去] で消去できます。

Wi-Fi設定は、Wi-Fi設定メニュー（□78）の [設定の初期化] で消去してください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

(VCCIマークは以下の操作でモニター上に表示されます。MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → 認証マークの表示 →  ボタン)

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例

	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

 **警告** (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



禁止

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等にむけてフラッシュや動画照明を発光しないこと

事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュや動画照明を人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。

撮影時には、1 m 以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



使用禁止

水中で使うときはストラップを取り外す

首に巻き付くと窒息の原因になります。

**保管注意**

ストラップが首に巻きつかないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない
首に巻き付くと窒息の原因になります。

**警告**

指定の電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル)を使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。

**使用禁止**

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、
電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

注意 (カメラについて)

**禁止**

0℃以下の低温下でカメラに長時間直接接触れない

金属部分などに触れていると、皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。
手袋などを着用ください。

**保管注意**

製品は、幼児の手の届く所に置かない

ケガの原因になることがあります。

**保管注意**

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

**使用注意**

航空機内での使用については、航空会社の指示に従う
病院内での使用については、病院の指示に従う

**電池を取る**

長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。

**プラグを抜く**

本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。

**発光禁止**

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。

- 
直視しない

動画照明を直接見ない
視覚に悪影響を及ぼすことがあります。
- 
禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
- 
放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因になることがあります。


危険 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)

- 
禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
- 
分解禁止

電池を分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
- 
危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
- 
危険

専用の充電器を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
- 
使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX AW130に対応しています。EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
- 
危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管しない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。
- 
危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき
は、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って
廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐに
きれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

 **警告** (本体充電ACアダプターについて)



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと

ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。



使用禁止

指定のUSBケーブルを使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。



感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因になることがあります。



禁止

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)
やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと
発熱、故障、火災の原因となります。



禁止

通電中のACアダプターに長時間直接接触れない
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

 **注意** (本体充電ACアダプターについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



放置注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

- 「取り扱い上のご注意」(□160)も、必ずお読みください。

耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock*に準拠した当社試験（高さ 210 cm から厚さ 5 cmの合板上へ落下）をパスしています。

すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。

※ 米国国防総省の試験方法の規格です。

高さ 122 cm から26方向（8角、12稜、6面）の落下試験を、5台のセットを使って、合計5台以内でパスする試験です（試験中に不具合が生じたときは、新たな5台のセットを使って、合計5台以内で試験します）。

- **本製品をぶついたり落としたり、本製品に重いものを載せたりして、強い衝撃や振動や圧力を与えないでください。**

変形して気密性を失い、浸水や故障の原因になります。

- 本製品を水深 30 m より深いところに入れないでください。
- 本製品に流水などで強い水圧をかけないでください。
- 本製品をスラックスなどのポケットに入れたまま座らないでください。バッグなどに無理に詰め込まないでください。

防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 30 m で 60分まで撮影できます。*

すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

※ 当社の定める使用方法で、指定圧力的水中で指定時間使用できるという意味です。

- **本製品をぶついたり落としたり、本製品に重いものを載せたりして、強い衝撃や振動、圧力を与えた場合、防水性能を保証するものではありません。**

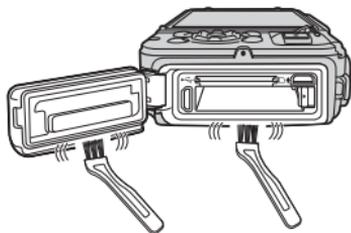
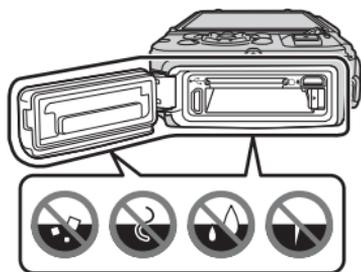
- 本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、防水性能の点検（有料）をおすすめします。
 - 本製品を落としたり、岩など硬いものにぶついたり、水面に投げたりしないでください。
 - 本製品を水深 30 m より深いところに入れないでください。
 - 本製品に急流や滝などの強い水圧をかけないでください。
 - お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。

- 万一、カメラ内部へ浸水した場合は、ただちに使用を中止し、カメラの水分を拭き取り、すみやかにニコンサービス機関へお持ちください。
- 本製品の防水性能は、真水（プール、河川、湖など）と海水のみを対象としています。
- 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。
- 付属品は防水仕様ではありません。
- カメラの外側や電池/メモリーカードカバーの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。ぬれたメモリーカード、電池をカメラに入れしないでください。

水辺や水中で、ぬれた状態でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になります。

ぬれた手でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。

- カメラの外側や電池 / メモリーカードカバーの内側（黄色の防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、メモリーカードスロット、端子など）に異物が付着したら、すぐにブロアーなどで取り除いてください。電池/メモリーカードカバー内側の防水パッキンに異物が付着しているときは付属のブラシで取り除いてください。付属のブラシは防水パッキンの清掃以外には使用しないでください。
- 本製品に日焼けオイル、日焼け止め、温泉、入浴剤、洗剤、石けん、有機溶剤、油脂、アルコール類などが付着したら、ただちにふき取ってください。カメラ外装の劣化の原因になることがあります。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、40℃以上の高温下（特に、直射日光の当たる場所、車内、船上、砂浜、そして暖房装置の近くなど）に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。



水中で使用する前のご注意

陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。

- 1. 電池/メモリーカードカバーの内側に異物が付着していないか確かめる**
 - 砂、ほこり、毛髪などの異物の付着は、ブローなどで取り除いてください。
 - 水滴など液体の付着は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- 2. 電池/メモリーカードカバーの防水パッキンにひび割れや変形がないか確かめる**
 - 防水パッキンの防水性能は、1年以上経過すると劣化することがあります。劣化していると思われるときは、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。
 - 防水パッキンが外れたりしていないかも確かめください。
- 3. 電池/メモリーカードカバーを確実に閉じたか確かめる**
 - 「カチッ」とロックがかかるまで、電池/メモリーカードカバー開閉ダイヤルを回してください。ストラップの細かいひもを挟み込まないようにご注意ください。
 - ダイヤルの指標が、「閉じる」状態になっていることも確かめてください。

水中での使用について

浸水を防ぐために、以下にお気をつけください。

- 本製品を持って水深 30 m よりも深く潜らないでください。
- 水中で60分以上連続して使わないでください。
- 水温 0℃から40℃の範囲内でお使いください。
- 温泉では使用できません。
- 水中で電池/メモリーカードカバーを開閉しないでください。
- 水中で本製品に衝撃を与えないでください。
本製品を持って水中に飛び込んだり、急流や滝などの激しい水圧をかけたりしないでください。
- 本製品は水に浮きません。水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。

水中で使用後のクリーニング

水中や海辺などでカメラを使った後は、60分以上放置せずに、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

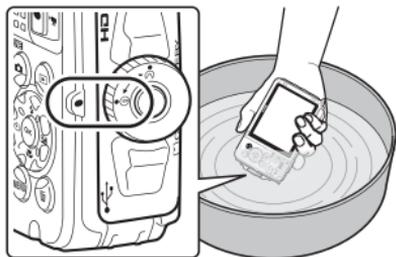
異物や塩分などを付着したまま放置すると、破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。

長くお使いいただくため、お手入れは以下の手順で水洗いすることをおすすめします。

- お手入れの前に、手、身体や毛髪などに付着した水滴、砂、塩分などをよく取り除いてください。
- お手入れは、水しぶきや砂がかかるおそれのある場所を避け、室内をおすすめします。
- 水洗いで異物を取り除き、水分をふき取るまでは、電池/メモリーカードカバーを開けないでください。

1. 電池/メモリーカードカバーを閉じたまま、真水で洗う

浅い容器に溜めた真水（水道水、井戸水のような塩分を含まない水）の中に、約10分間浸け置きしてください。



- ボタンやスイッチ類が正常に動かないときは、異物付着の可能性があります。

故障の原因になりますので、真水に浸けて軽く揺すり、異物を洗い流してください。

- 水に浸けると、マイクやスピーカーなどの水抜き孔からわずかに気泡が出ることがありますが、故障ではありません。

2. 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす

- 乾いた布などの上を立てて置いて、乾かしてください。
マイクやスピーカーなどの隙間に入っていた水が流れ出てきます。
- ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。
防水パッキンやボディーが変形すると、防水性能を失います。

3. 水滴などの付着がないことを確認してから、電池/メモリーカードカバーを開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る

- 十分に乾燥させないうちに、カバーを開けると、水滴がメモリーカードや電池に付着することがあります。また、水滴がカバーの内側（防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、メモリーカードスロット、端子など）に付着することがあります。

柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。

- カバーを内側がぬれたままで閉じると、結露や故障の原因になります。
- マイクやスピーカーなどの孔を水滴がふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。

- 柔らかい乾いた布でふき取ってください。

- マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。

- 「お手入れ方法 クリーニングについて」(□164) もお読みください。

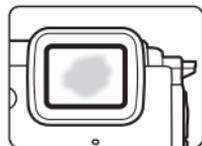
使用温度と湿度、結露について

このカメラは、 $-10^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ での動作確認をしています。

寒冷地や標高の高い山では、以下にご注意ください。

- 電池の性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が一時的に低下します。カメラや予備電池は、防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。
- カメラが冷え切っていると、モニターが電源を ON にした直後は通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、性能が一時的に低下することがあります。
- カメラの外側に雪や水滴などが付着したら、すぐに取り除いてください。
 - ボタンやスイッチ類などが凍結すると、動きにくくなることがあります。
 - マイクやスピーカーなどの孔を水滴などがふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。

- **レンズやモニターの内側が、温度や湿度などの使用環境によってくもる（結露する）ことがあります。本機の故障や不具合ではありません。**



● カメラの内側が結露しやすい環境について

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやモニターの内側がくもる（結露する）場合があります。

- 砂浜や直射日光があたる場所など、気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
- 寒冷地から屋内などの温かい場所に持ち込む
- 湿度が高い環境で、電池/メモリーカードカバーを開閉する

● くもりを取る方法

- 高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源を OFF にしてから電池/メモリーカードカバーを開ける。電池とメモリーカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、くもりが取れます。
- くもりが取れない場合は、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

<重要>位置情報機能（GPS/GLONASS、電子コンパス）についてのご注意

● 本製品の地図・地名情報データについて

位置情報機能をお使いの前に、「地図・地名情報データ使用許諾契約書」(□187)を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地図や地名情報 (Point of Interest : POI) は、2014年4月現在のものです。地図や地名情報の更新はいたしません。
- 地形の詳細については、地図の縮尺に従い、省略表示をしています。地図の縮尺、地名情報の粗密は、国や地域で異なります。また、緯度が高くなるに伴い、画面上の縦横の縮尺は異なってくるため、地形の表示も実際と異なります。地図や地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。
- 中華人民共和国（以下「中国」）と大韓民国の詳細な地図データ、および地名情報 (POI) は、搭載していません。

● 位置情報記録機能とログ取得について

- 位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] を [する] にしているときやログ取得中は、カメラの電源をOFFにした後も位置情報記録機能やログ取得機能が作動します (□132)。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」(□iv) も必ずお読みください。

● 計測機能について

本製品はカメラです。航法機器や計測機器として使わないでください。

- 本製品が計測する情報（方位、高度、水深など）は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途には使わないでください。
- 本製品を登山やトレッキング、水中などでお使いの際は、地図や航法機器、計測機器を必ず携帯してください。

● 海外でお使いの場合

- 位置情報機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。
[位置情報記録機能] を [しない] にしてご使用ください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、位置情報機能が正常に機能しない場合があります（2014年12月現在）。

Wi-Fi (無線LAN) 機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品の Wi-Fi の無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi (無線LAN) 機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています（以下の操作でモニター上に表示されます。MENU ボタンを押す → Y メニューアイコン → 認証マークの表示 → OK ボタン）。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです：
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi 機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi 接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（78）の【設定クリアー】で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに	i
はじめにお読みください	i
本書の記載について	i
陸上専用ストラップの取り付け方	ii
ご確認ください	iii
安全上のご注意	v
<重要> 耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露について	xii
耐衝撃性能について	xii
防水/防じん性能について	xii
水中で使用する前のご注意	xiv
水中での使用について	xiv
水中で使用後のクリーニング	xv
使用温度と湿度、結露について	xvii
<重要>位置情報機能 (GPS/GLONASS、電子コンパス) についてのご注意	xviii
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xx
<hr/>	
各部の名称	1
カメラ本体	1
モニターの表示内容	3
撮影モード	3
再生モード	5
<hr/>	
撮影の準備	6
電池とメモリーカードを入れる	6
電池やメモリーカードを取り出すときは	7
メモリーカードと内蔵メモリーについて	7
電池を充電する	8
電源を ON にして、表示言語と日時を設定する	10
<hr/>	
撮影と再生の基本操作	12
おまかせシーンモードで撮影する	12
ズームを使う	14
シャッターボタンの半押しと全押し	14
画像を再生する	15
画像を削除する	16
撮影モードを変える	18
フラッシュやセルフタイマーなどを使う	19

動画を撮影する	19
アクション操作	20
1コマ表示で前後の画像を表示する	20
アクションメニューを使う	20
地図の表示を切り換える	20
いろいろな撮影	21
☺ (おまかせシーン) モード	21
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	23
ヒントとご注意	24
タイムラプス動画の撮影方法	28
かんたんパノラマの撮影方法	30
かんたんパノラマの再生方法	32
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)	33
ベストフェイスモード (顔をよりきれいに撮影する)	34
笑顔自動シャッターを使う	35
セルフカラーージュを使う	36
ショートムービーショーモード (つなげて作る短編動画)	38
📷 (オート撮影) モード	42
クリエイティブスライダーを使う	43
フラッシュモード	44
セルフタイマー	46
マクロモード (接写する)	47
露出補正 (明るさを調節する)	48
フラッシュやセルフタイマーなどの初期設定一覧	49
ピント合わせについて	51
顔認識撮影について	51
美肌機能について	52
ターゲットファインドAFについて	53
オートフォーカスが苦手な被写体	54
フォーカスロック撮影	55
撮影時に組み合わせて使えない機能	56
いろいろな再生	59
拡大表示	59
サムネイル表示 / カレンダー表示	60
撮影日一覧モード	61
連写した画像 (連写グループ) の再生と削除	62
連写グループの再生方法	62
連写グループの画像を削除する	63
画像の編集 (静止画)	64
画像編集の前に	64

クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）.....	64
簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）.....	65
D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）.....	66
赤目補正（フラッシュ撮影による赤目を補正する）.....	66
メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）.....	67
情報合成画像	
（高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む）.....	68
スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）.....	69
トリミング（画像の一部を切り抜く）.....	70

動画の撮影と再生..... 71

動画撮影中に静止画を記録する.....	74
動画再生中の操作.....	75
動画の編集.....	76
動画の必要な部分だけを切り出す.....	76
動画の1フレームを静止画として保存する.....	77

メニューを使う..... 78

撮影メニュー（  （オート撮影）モード）.....	80
画像モード（画像サイズ/画質）.....	80
ホワイトバランス（色合いの調整）.....	82
連写.....	84
ISO感度設定.....	87
AFエリア選択.....	88
AFモード（オートフォーカスモード）.....	91
ベストフェイスメニュー.....	92
セルフカラーージュ.....	92
目つぶり軽減.....	93
再生メニュー.....	94
Wi-Fi 送信画像の指定.....	94
スライドショー.....	95
プロテクト設定.....	96
画像回転.....	96
画像コピー（メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー）.....	97
連写グループ表示方法.....	98
画像選択画面の操作方法.....	99
動画メニュー.....	100
動画設定.....	100
AFエリア選択.....	104
AFモード.....	105
動画手ブレ補正.....	106
動画照明.....	106

風切り音低減	107
フレームレート設定	107
Wi-Fi 設定メニュー	108
文字入力画面の操作方法	109
位置情報設定メニュー	110
位置情報設定	110
距離単位	111
距離計算	112
POI設定（地名情報を記録、表示する）	113
ログ取得	114
ログデータ表示	115
衛星による日時合わせ	115
電子コンパス設定	116
高度/水深設定	118
セットアップメニュー	119
地域と日時	119
モニター設定	121
日付写し込み	123
静止画手ブレ補正	124
AF補助光	125
電子ズーム	125
操作音	126
水中フラッシュ	126
アクション操作の感度	127
アクション画像送り	127
アクション地図操作	128
オートパワーオフ	128
カード/メモリーの初期化（フォーマット）	129
言語 /Language	129
パソコン接続充電	130
設定クリアー	131
認証マークの表示	131
バージョン情報	131

位置情報機能を使う / 地図を表示する	132
撮影地点の位置情報を画像に記録する	132
ログを記録する	132
地図を表示する	132
位置情報を画像に記録する	133
撮影地点を地図に表示する（再生モード）	136
現在地を地図に表示する（撮影モード）	138
高度計 / 水深計を使う	140

移動情報のログを記録する	141
ログ取得を終了しメモリーカードに保存する	143
位置情報ログを地図に表示する	144
高度/水深ログをグラフで表示する	145

Wi-Fi（無線 LAN）を使う 146

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする	146
カメラとスマートデバイスを接続する	147
スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する	149

テレビ、プリンター、パソコンとの接続 150

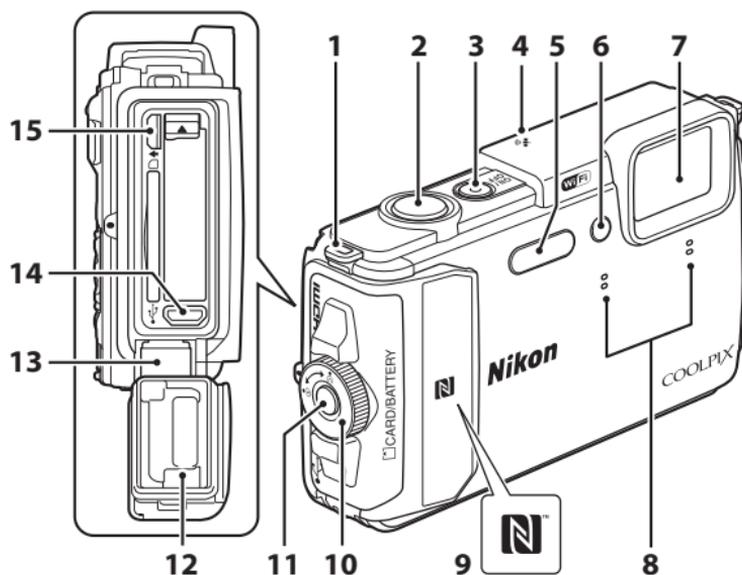
テレビとの接続（テレビ画面での再生）	152
プリンターとの接続（ダイレクトプリント）	153
カメラとプリンターを接続する	153
1コマずつプリントする	154
複数の画像をプリントする	155
ViewNX 2を使う（パソコンに画像を取り込む）	157
ViewNX 2をインストールする	157
パソコンに画像を取り込む	157

付録 159

取り扱い上のご注意	160
カメラについて	160
電池について	161
本体充電ACアダプターについて	162
メモリーカードについて	163
お手入れ方法	164
クリーニングについて	164
保管について	164
警告メッセージ	165
故障かな？と思ったら	170
記録データのファイル名	180
別売アクセサリ	182
水中スピードライトの装着方法	183
地図・地名情報データ使用許諾契約書	187
主な仕様	192
推奨メモリーカード	197
索引	199
ニコンプラザのご案内	203
修理サービスのご案内	204

各部の名称

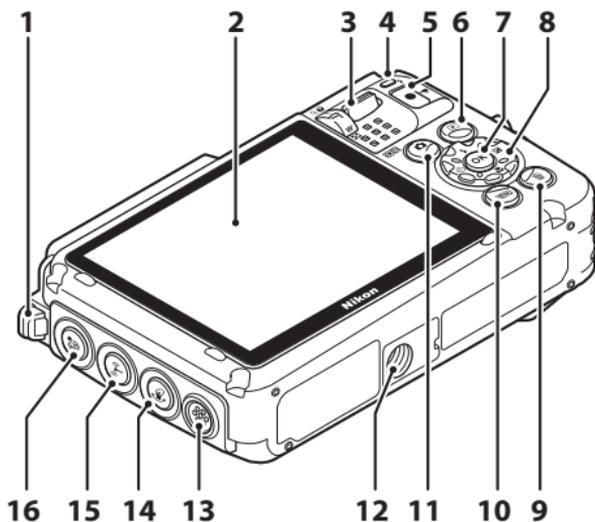
カメラ本体



各部の名称

- 1 ストラップ取り付け部 ii
- 2 シャッターボタン 13
- 3 電源スイッチ/電源ランプ 10
- 4 測位アンテナ 133
- 5 フラッシュ 44
- 6 セルフタイマーランプ 46
- 7 AF補助光
動画照明 106
- 8 マイク (ステレオ)
..... 38、71

- 9 Nマーク (NFCアンテナ部)
..... 147、149
- 10 電池/メモリーカードカバー
開閉ダイヤル 6
- 11 電池/メモリーカードカバー
ロック解除ボタン 6
- 12 防水パッキン xiii
- 13 蝶番 (ちょうつがい) xiii
- 14 Micro-USB端子 150
- 15 HDMIマイクロ端子 (Type D)
..... 150



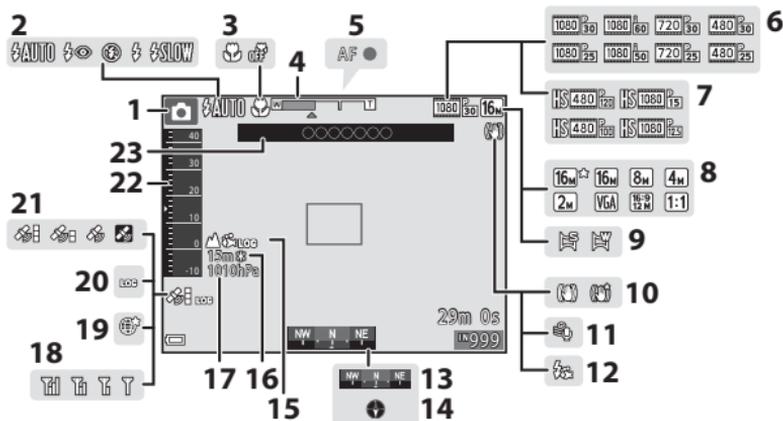
1	ストラップ取り付け部..... ii	8	マルチセレクター.....78
2	有機ELモニター(モニター)※ 3	9	☒ (削除) ボタン.....16
3	ズームレバー.....14	10	MENU (メニュー) ボタン78
	W: 広角ズーム.....14	11	📷 (撮影モード) ボタン 18、21、23、33、34、38、42
	T: 望遠ズーム.....14		
	📐: サムネイル表示.....60		
	Q: 拡大.....59		
🔍: ヘルプ.....23	12	三脚ネジ穴	
4	充電ランプ.....8	13	スピーカー
	フラッシュランプ.....44	14	👉 (アクション) ボタン20
5	● (📹 動画撮影) ボタン19		
6	▶ (再生) ボタン.....15	16	📍 (地図) ボタン136、138
7	OK (決定) ボタン.....78		

※ 本書では「モニター」と表記することがあります。

モニターの表示内容

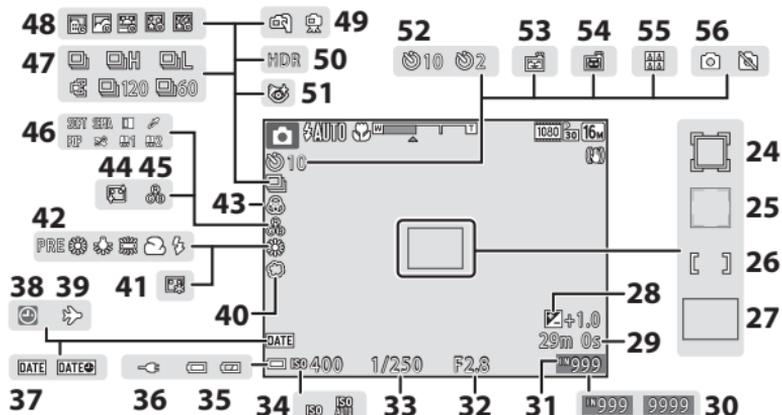
撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]（[P.121](#)）→[モニター表示設定]→[情報オート]時）。

撮影モード



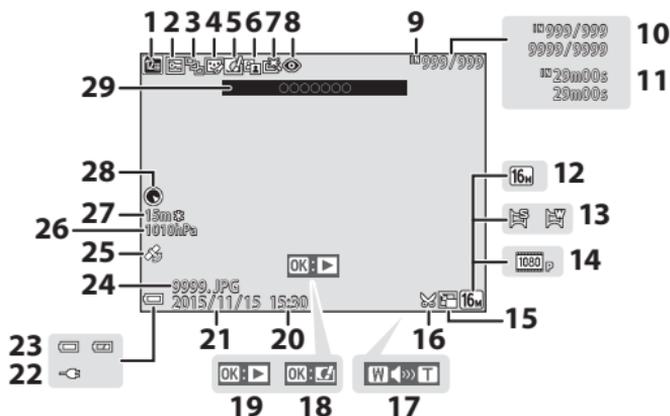
各部の名称

1	撮影モード 18、21、23、33、34、38、42	13	コンパス表示（方位ゲージ） 116
2	フラッシュモード..... 44	14	コンパス表示（方位磁石） 116
3	マクロモード..... 47	15	□取得表示（高度/水深） 141
4	ズーム表示..... 14、47	16	高度表示/水深表示..... 140
5	AF表示..... 13	17	気圧表示..... 140
6	動画設定（通常速度の動画） 100	18	Wi-Fi通信表示..... 147
7	動画設定（HS動画）..... 101	19	地点登録..... 138
8	画像モード..... 80	20	□取得表示（位置情報） 141
9	かんたんパノラマ..... 30	21	位置情報受信状態..... 132
10	手ブレ補正表示.... 106、124	22	高度計/水深計..... 140
11	風切り音低減..... 107	23	地名情報（POI情報）..... 135
12	水中フラッシュ..... 126		



24	AFエリア (ターゲット追尾時) 89、90	39	訪問先 119
25	AFエリア (顔認識時、ペット検出時) 27、35、51、88	40	ソフト 34
26	AFエリア (マニュアル、中央時) 55、88、89	41	ファンデーション 34
27	AFエリア (ターゲットファインドAF時) 53、89	42	ホワイトバランス 82
28	露出補正值 34、43、48	43	鮮やかさ 34、43
29	記録可能時間 (動画) 72	44	美肌 34
30	記録可能コマ数 (静止画) 11	45	色合い 43
31	内蔵メモリー表示 11	46	スペシャルエフェクト 38
32	絞り値 14	47	連写モード 84
33	シャッタースピード 14	48	タイムラプス動画 28
34	ISO感度表示 87	49	手持ち撮影/三脚撮影 24、25
35	電池残量表示 11	50	逆光 (HDR) 26
36	本体充電ACアダプター接続中表示	51	目つぶり軽減 93
37	日付写し込み 123	52	セルフタイマー 46
38	日時未設定 171	53	笑顔自動シャッター 35
		54	ペット自動シャッター 27
		55	セルフコラージュ 36
		56	静止画撮影 (動画撮影中) 74

再生モード



各部の名称

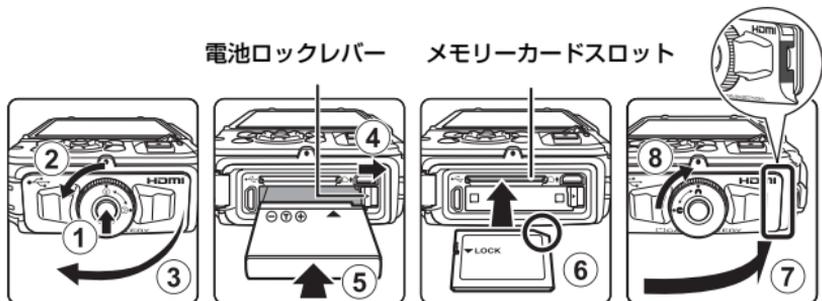
1	撮影日一覧表示.....	61	16	トリミング済み表示	59、70
2	プロテクト表示.....	96	17	音量表示	40、75
3	連写グループ表示（ [1枚ずつ] 設定時）	98	18	クイックエフェクト設定ガイド	
4	メイクアップ効果済み表示	67	19	かんたんパノラマ再生ガイド	
5	クイックエフェクト済み表示.....	64	20	連写グループ再生ガイド	
6	D-ライティング済み表示	66	21	動画再生ガイド	
7	簡単レタッチ済み表示	65	22	撮影時刻	
8	赤目補正	66	23	撮影日	
9	内蔵メモリー表示		24	本体充電ACアダプター	
10	画像の番号/全画像数		25	接続中表示	
11	動画の再生時間		26	電池残量表示.....	11
12	画像モード	80	27	ファイル名.....	180
13	かんたんパノラマ	32	28	位置情報記録済み表示 ..	135
14	動画設定	100	29	気圧表示	140
15	スモールピクチャー	69		高度表示/水深表示	140
				コンパス表示（方位磁石）	116、132
				地名情報（POI情報）	113

撮影の準備

電池とメモリーカードを入れる

電池ロックレバー

メモリーカードスロット



- 電池/メモリーカードカバーロック解除ボタンを押し込み (①)、電池/メモリーカードカバー開閉ダイヤルを回して (②)、カバーを開けます (③)。
- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをすらしながら (④)、奥まで差し込みます (⑤)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます (⑥)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- 電池/メモリーカードカバーを閉じ (⑦)、カバー側面の赤い部分が見えなくなるまで本体に押し込みながら、電池/メモリーカードカバー開閉ダイヤルを、カチッと音がするまで回します (⑧)。
確実にカバーがロックされていることを確認してください。

✓ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。メモリーカードをカメラに入れ、MENU ボタンを押し、セットアップメニュー (□78) の [カードの初期化] を選びます。

✓ ストラップひもの挟み込みに注意

電池/メモリーカードカバーを閉めるときに、ストラップのひもを挟み込むと電池/メモリーカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認してから電池/メモリーカードカバーを開めてください。

電池/メモリーカードカバーの開閉に注意

砂、ほこりなどの多い場所や、ぬれた手で電池/メモリーカードカバーの開閉をしないでください。異物を取り除かずにカバーを閉めると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。

- カバーやカメラの内側に異物が付着したら、すぐにプロアーやブラシなどで取り除いてください。
- カバーやカメラの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。

電池やメモリーカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

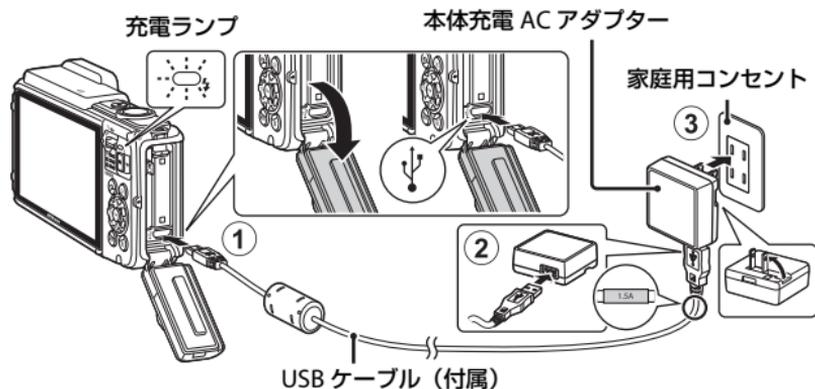
- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

メモリーカードと内蔵メモリーについて

撮影したデータは、メモリーカードまたはカメラの内蔵メモリーのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、メモリーカードを取り出してください。

電池を充電する

1 電池を入れたカメラを、家庭用コンセントに接続する



- 充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 充電が終わると、充電ランプが消灯します。残量がない電池の場合、約2時間20分かかります。
- 充電ランプが緑色で速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。

2 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

充電についてのご注意

- 充電中はカメラを操作できますが、充電時間が長くなります。
- 電池残量が極端に少ないときは、充電中でもカメラを操作できない場合があります。
- EH-71P/EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

パソコンや充電器で充電する

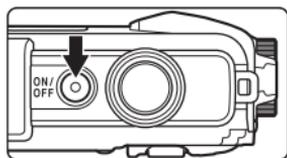
- このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できます。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-65Pを使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

電源をONにして、表示言語と日時を設定する

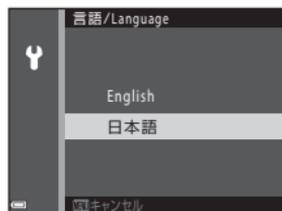
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- モニターが点灯します。
- もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。
- 電池を入れてから電源スイッチが有効になるまでに数秒間かかります。数秒間経ってから、電源スイッチを押してください。



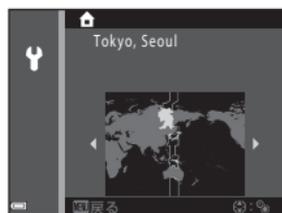
2 マルチセレクターの▲▼で表示言語を選び、OKボタンを押す



3 [はい] を選び、OKボタンを押す

4 自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、OKボタンを押す

- ▲を押すと地図上部に☀️が表示され、夏時間として設定されます。取り消すには▼を押します。



5 ▲▼で日付の表示順を選び、OKボタンを押す

6 日時を合わせ、**OK** ボタンを押す

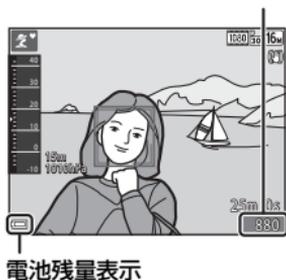
- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- [分] を選んで**OK** ボタンを押し、設定を確認します。



7 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

8 防水に関するメッセージを確認し、**▶**を押す

- メッセージ画面は7つあります。
- 最後のメッセージを確認したら**OK** ボタンを押します。
- 撮影画面になり、おまかせシーンモードで撮影できます。
- 電池残量表示
 - ☐: 電池残量はあります。
 - ☐: 電池残量が少なくなりました。
- 記録可能コマ数
メモリーカードをカメラに入れていないときは、**16**が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。



📎 言語や日時の設定をやり直すときは

- **Y** セットアップメニュー (☐78) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- **Y** セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] でマルチセクターの **▶** を押し、▲で夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、▼でオフにすると1時間戻ります。

📎 時計用電池について

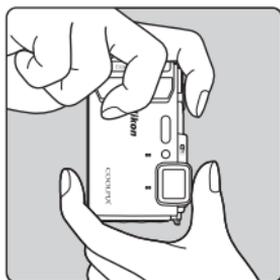
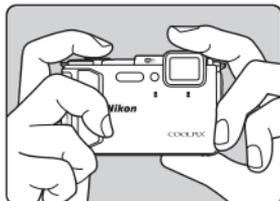
- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター (別売) を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください (☐10)。

撮影と再生の基本操作

おまかせシーンモードで撮影する

1 カメラを構える

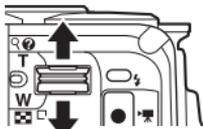
- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にご覧ください。



2 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーを動かします。

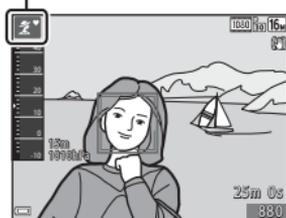
大きく写す



広い範囲を写す

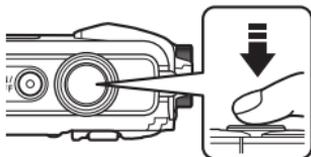
- カメラが撮影シーンを判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。

撮影モードアイコン

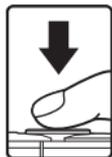


3 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- AF エリアまたは AF 表示が点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。



4 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する



✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

📎 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中にモニターを再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

📎 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所でフラッシュモード (□19) が🚫 (発光禁止) のとき
 - ズーム位置が望遠側するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー (□78) の [静止画手ブレ補正] を [しない] にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す：**T**側
- 広い範囲を写す：**W**側
電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを **T** 側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。

望遠側



広角側



電子ズームについて

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し



シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。

半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。

全押し



シャッターボタンを深く押し込む(全押しする)と、シャッターがきれえます。

シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

画像を再生する

1 ▶ (再生) ボタンを押して、再生モードにする

- 電源OFFの状態では▶ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- 撮影に戻るには、 ボタンまたはシャッターボタンを押します。

前の画像を表示

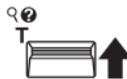


次の画像を表示

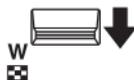
- 1コマ表示でOK: が表示されたときは、 ボタンを押すと画像に効果を付けられます。



- 1コマ表示でズームレバーをT (Q) 側に動かすと、拡大表示されます。



- 1コマ表示でズームレバーをW (Q) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



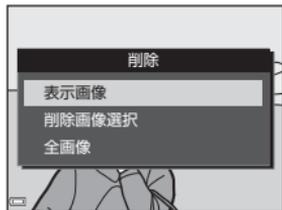
画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して  (削除) ボタンを押す



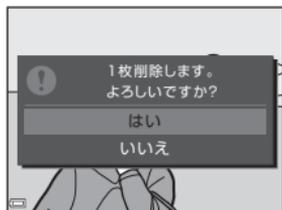
- 2 マルチセレクターの▲▼で削除方法を選び、 ボタンを押す

- 削除をやめるには、MENU ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、 ボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。



連写した画像 (連写グループ) の削除について

- 連写した画像は「連写グループ」として保存され、再生すると1コマ目 (代表画像) のみを表示します (初期設定)。
- 代表画像の表示中に  ボタンを押すと、その連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、 ボタンを押して1コマずつに展開表示してから  ボタンを押します。



撮影モードで画像を削除する

撮影モードで  ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクトターの◀▶で削除したい画像を選び、▲で☑を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して☑を非表示にします。
- ズームレバー (□2) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (□) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに☑を表示し、OK ボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

撮影モードを変える

以下の撮影モードがあります。

- **📷 おまかせシーン**
構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。
- **📷 シーン**
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
- **SOFT スペシャルエフェクト**
画像に効果を付けて撮影できます。
- **😊 ベストフェイス**
人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。笑顔自動シャッターやセルフコラージュを使って撮影ができます。
- **🎥 ショートムービーショー**
数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービーショー（[1080]📷1080/30p] または [1080]📷1080/25p]）を作成します。
- **📷 オート撮影**
基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

1 撮影画面で📷（撮影モード）ボタンを押す



2 マルチセレクターの▲▼で撮影モードを選び、OKボタンを押す

- シーンモードまたはスペシャルエフェクトモードを選んだときは、OKボタンを押す前に▶️を押し、シーンまたは効果の種類を選びます。



フラッシュやセルフタイマーなどを使う

撮影画面でマルチセレクターの▲ (⚡) ◀ (⌚) ▼ (🌸) ▶ (☒) を押すと、以下の機能を設定できます。



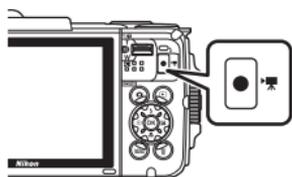
- ⚡ フラッシュモード
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。
- ⌚ セルフタイマー
シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。
- 🌸 マクロモード
被写体に近づいて撮影するときを設定します。
- ☒ 露出補正
画像全体の明るさを調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

動画を撮影する

撮影画面を表示し、● (🎥動画撮影) ボタンを押すと撮影を開始します。終了するにはもう一度● (🎥) ボタンを押します。

- 再生するには、再生モードの1コマ表示で動画を選び、Ⓞ ボタンを押します。



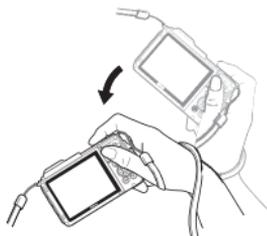
アクション操作

カメラを振ったり傾けたりすると、以下の操作ができます。

1コマ表示で前後の画像を表示する

再生の1コマ表示で、カメラを上下方向に振ると次の画像を表示します。前後方向に振ると前の画像を表示します（セットアップメニュー（□78）[アクション画像送り]が[する]時）。

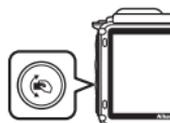
- カメラを振るときは、必ずストラップを手に通してしっかりカメラを持ち、図のように手首を使って一振りしてください。



アクションメニューを使う

Ⓜ (アクション) ボタンを押すと、アクションメニューを表示します。

- カメラを振って以下の項目を選び、Ⓜ ボタンを押して決定してください。



アクションメニュー

項目	内容
撮影モード選択	撮影モードを選べます（一部のみ）。
● 動画撮影開始	Ⓜ ボタンを押して、動画撮影を開始/終了します。
▶ クイック再生	画像を1コマ表示します。
📍 現在地	現在地を地図上に表示します（位置情報を測位できているときのみ（□132））。
✕ 終了	アクションメニューを終了します。

アクションメニューの表示中は、Ⓜ ボタン、シャッターボタン、電源ボタン、📍 ボタン以外は操作できません。

地図の表示を切り換える

- 地図を表示中に、Ⓜ ボタンを押しながらカメラを傾けると、地図をスクロールします。
- 地図を表示中に、カメラを1回振ると地図を拡大、2回振ると地図を縮小します（セットアップメニュー [アクション地図操作] が [する] 時）。

いろいろな撮影

SCENE (おまかせシーン) モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (おまかせシーン) モード → ボタン

シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わりません。

	ポートレート (1~2人程度のアップ)
	ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	風景
	夜景ポートレート (1~2人程度のアップ)
	夜景ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	夜景
	クローズアップ
	逆光 (人物以外の撮影)
	逆光 (人物撮影)
	水中 ※
	その他の撮影シーン

※ カメラを水の中に入れると、水中モードに切り換わります。

位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] が [する] の場合で、測位できているときは、カメラが水中を検出すると、水中で撮影した画像に位置情報を記録するかどうかを選ぶ画面が表示されます。[はい] または [いいえ] を選んで ボタンを押すと、撮影画面になります。

SCENE (おまかせシーン) モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください (□18)。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は になります。

水の中から出した後のご注意

カメラを水の中から出した後、まれに、水中モードから他のシーンに自動で切り換わらないことがあります。

カメラに付着した水滴などを、手で軽く払うか、柔らかい乾いた布でふき取ってください。お手入れの仕方は、「水中で使用後のクリーニング」(□xv)をご覧ください。

(おまかせシーン) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (□44)
- セルフタイマー (□46)
- 露出補正 (□48)
- 画像モード (□80)

シーンモード(シーンに合わせて撮影する)

撮影シーンを選ばると、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (上から2番目のアイコン*) → → シーンを選択する → ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート (初期設定)	トワイライト*1、2、3
風景*1、2	夜景*1、2 (□25)
タイムラプス動画 (□28)	クローズアップ (□25)
スポーツ*2 (□24)	料理 (□25)
夜景ポートレート (□24)	打ち上げ花火*1、3 (□26)
パーティー*2 (□24)	逆光*2 (□26)
ビーチ*2	かんたんパノラマ (□30)
雪*2	ペット (□27)
夕焼け*2、3	水中*2 (□27)

※1 ピントは遠景に合います。

※2 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(□124)を「しない」にしてください。

各シーンの説明を見るには (ヘルプ表示)

シーンの種類を選び、ズームレバー (□2) を T (🔍) 側に動かすと、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを T (🔍) 側に動かします。



ヒントとご注意

📷 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約7.0コマ/秒の速さで約5コマまで連写できます（画像モードが**16M**のとき）。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されません。

🌃 夜景ポートレート

-  [夜景ポートレート] を選ぶと表示される画面で、 [手持ち撮影] または  [三脚撮影] を選びます。
-  [手持ち撮影]（初期設定）：
 - 撮影画面の  アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
-  [三脚撮影]：
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正]（124）を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

🎉 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補正]（124）を [しない] にしてください。

🌃 夜景

- 🌃 [夜景] を選ぶと表示される画面で、👤 [手持ち撮影] または📵 [三脚撮影] を選びます。
- 👤 [手持ち撮影] (初期設定) :
 - 撮影画面の📷アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 📵 [三脚撮影] :
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの[静止画手ブレ補正] (📷124) を[する]に設定していても、手ブレ補正を行いません。

🔍 クローズアップ

- マクロモード (📷47) がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア(AFエリア)を移動できます。OKボタンを押し、マルチセクターの▲▼◀▶で移動し、OKボタンで決定します。

🍴 料理

- マクロモード (📷47) がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセクターの▲▼で調節できます。色合いの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア(AFエリア)を移動できます。OKボタンを押し、マルチセクターの▲▼◀▶で移動し、OKボタンで決定します。



☀ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。

📷 逆光

-  [逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の [ON] / [OFF] を撮影シーンに合わせて選びます。
- [OFF]（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
 - シャッターボタンを全押しすると、1コマ撮影します。
- [ON]：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の2コマを記録します。
 - HDR合成していない画像
 - HDR合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
 - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング（☐66）で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

🐾 ペット

- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、**[S]** [単写] または **[C]** [連写] を選びます。
 - **[S]** [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1コマ撮影します。
 - **[C]** [連写]：犬または猫の顔を検出するたびに、3コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの **◀ (C)** を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - **[ON]**：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - **[OFF]**：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。[OFF] のときは、人物の顔も認識しません。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。

✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲われます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



🐟 水中

- [水中] を選ぶと、位置情報記録について (📍135)、水深補正についての画面に続き、防水に関するメッセージが表示されます。メッセージを確認し、マルチセレクターの **▶** を押すと、次のメッセージ画面が表示されます。シャッターボタンを押すと、以降の画面を表示せずに撮影画面になります。
- 水中で撮影するときは、「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(📍xii) をご覧ください。

タイムラプス動画の撮影方法

一定間隔で静止画を300コマ自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画（[1080p] 1080/30p）にして記録します。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （上から2番目のアイコン※） → → → → （タイムラプス動画） → ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

種類	撮影間隔	撮影所要時間
街中/10分間撮影（初期設定）	2秒	10分
風景/25分間撮影	5秒	25分
夕焼け/50分間撮影	10秒	50分
星空/150分間撮影※ ¹	30秒	2時間30分
星軌跡/150分間撮影※ ²	30秒	2時間30分

※1 星の動きなどに適しています。ピントは無限遠に固定します。

※2 画像処理で星の動きを光の線で表現します。ピントは無限遠に固定します。

- 1 マルチセレクターの▲▼で種類を選び、 ボタンを押す



- 2 露出（明るさ）を固定するかどうかを選び、 ボタンを押す（ および を除く）

- [AE-Lする] にすると、露出を1コマ目で固定します。
夕暮れなど、明るさの変化が激しいときは [AE-Lしない] をおすすめします。



3 三脚などでカメラを固定します

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する

- 露出補正 (□48) は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。ピントと色合いは、1コマ目の撮影時に固定されます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれません。
- 撮影の合間は、モニターが消灯することがあります。
- 300コマ撮影すると自動終了します。
- ⓧボタンを押すと、撮影所要時間が終わる前に撮影を終了し、タイムラプス動画を記録します。
- 音声と静止画は記録されません。



✓ タイムラプス動画についてのご注意

- メモリーカードを入れていないときは、撮影できません。メモリーカードは、撮影を終了するまで交換しないでください。
- 途中で電源が切れないよう、充分に残量のある電池をお使いください。
- (⦿ 動画撮影) ボタンを押しても、タイムラプス動画は撮影できません。
- セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□124) を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

かんたんパノラマの撮影方法

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (上から2番目のアイコン※) →  →  →  (かんたんパノラマ) →  ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

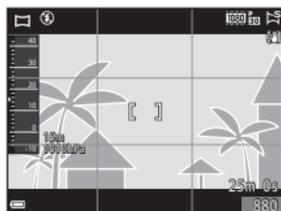
1 撮影する範囲を **STP** [標準] または **WIDE** [ワイド] から選び、 ボタンを押す

- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ(ヨコ×タテ)は、以下のとおりです。
 -  **STP** [標準] : 水平に移動時 4800×920、垂直に移動時 1536×4800
 -  **WIDE** [ワイド] : 水平に移動時 9600×920、垂直に移動時 1536×9600



2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面中央でピントが合います。



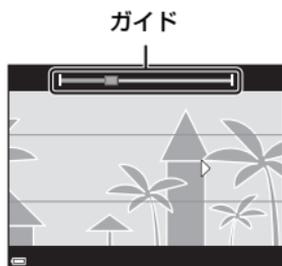
3 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示す    マークが表示されます。



4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
- ピントと露出は、撮影終了まで固定されません。



カメラの動かし方の例



- 撮影者を軸にして、カメラをマーク（△▽◁▷）と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒（ [標準] 時）、または約30秒（ [ワイド] 時）が経過すると撮影は終了します。

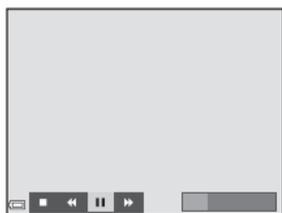
✓ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして (□15)、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、OKボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。

再生中は、画面に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	OKボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。
早送り	▶	OKボタンを押している間、スクロールを早送りします。
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		◀ OKボタンを押している間、巻き戻しします。
		▶ OKボタンを押している間、スクロールします。
	▶	自動スクロールを再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。

✓ **かんたんパノラマ画像についてのご注意**

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

✓ **パノラマ写真をプリントするときのご注意**

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → SOFT（上から3番目のアイコン※） → → → 効果を選択する → ボタン

※ 前回選んだ効果のアイコンが表示されます。

種類	内容
SOFT ソフト（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
ハード調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、マルチセクターの▲▼で色を選び、 ボタンで決定します。色を選び直すには、もう一度 ボタンを押します。



ベストフェイスモード（顔をよりきれいに撮影する）

人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → 📷（撮影モード）ボタン → 😊 ベストフェイスモード → Ⓞ ボタン

1 マルチセレクターの▶を押す



2 効果を付ける

- ◀▶で効果を選びます。
- ▲▼で効果の度合いを調節します。
- 同時に複数の効果が付けられます。
😊 [美肌]、🌿 [ファンデーション]、○ [ソフト]、👄 [鮮やかさ]、☑ [明るさ（露出補正）]
- スライダーを非表示にするには、☒ [終了] を選びます。
- すべての効果を確認したら、Ⓞ ボタンを押します。



3 構図を決め、シャッターボタンを押す

✓ ベストフェイスモードについてのご注意

撮影画面の画像と保存した画像では、効果の度合いが異なる場合があります。

📎 メイクアップ効果の設定について

明るさ（露出補正）を選ぶと、ヒストグラムが表示されます。→📖48

ベストフェイスモードで設定できる機能

- メイクアップ効果 (☞34)
- 笑顔自動シャッター (☞35)
- セルフコラージュ (☞36)
- フラッシュモード (☞44)
- セルフタイマー (☞46)
- ベストフェイスメニュー (☞92)

笑顔自動シャッターを使う

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 😊 ベストフェイスモード → Ⓞ ボタン

マルチセレクターの ◀ を押し、😊 [笑顔自動シャッター] を選んで Ⓞ ボタンを押すと、カメラが人物の笑顔を検出するたびに、自動でシャッターがきれます。

- メイクアップ効果は、笑顔自動シャッターよりも先に設定してください。(☞34)。
- シャッターボタンを押して撮影すると、笑顔自動シャッターが終了します。



✔ 笑顔自動シャッターについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります(☞51)。シャッターボタンを押しても撮影できます。

📎 セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

セルフコラージュを使う

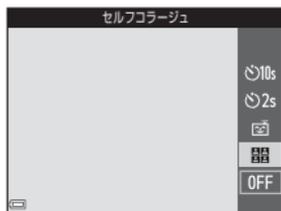
4回または9回のインターバル撮影をした画像を1コマの画像として記録できます（コラージュ画像）。



撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → ベストフェイスモード → ボタン

1 マルチセレクターの◀を押し、 [セルフコラージュ] を選んで ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。
- ◀を押す前に、MENU ボタンを押して [セルフコラージュ] を選択すると、[撮影回数]、[撮影間隔]、[シャッター音の設定] が設定できます (□92)。
- メイクアップ効果を付けて撮影する場合は、先に設定してください (□34)。



2 撮影する

- シャッターボタンを押すと、カウントダウン(約5秒)が始まり、自動的にシャッターがきれます。
- 2コマ目は自動でシャッターがきれます。撮影の約3秒前になると、カウントダウンが始まります。
- 画面に撮影する回数分の○が表示されます。撮影中は緑色で表示され、撮影後は白色になります。
- 設定回数の撮影が終わると、コラージュ画像が保存されます。
- 撮影した画像はコラージュ画像とは別に1コマずつ保存されます。1コマ画像は連写グループとして扱われ、コラージュ画像が代表画像になります (□62)。



セルフコラージュについてのご注意

- 設定した回数の撮影が終わる前にシャッターボタンを押すと、撮影が中断されコラージュ画像は保存されません。中断前に撮影した1コマ画像は保存されません。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (P56)。

ショートムービーショーモード（つなげて作る短編動画）

数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービーショー（[1080p]1080/30p] または [1080p]1080/25p]）を作成します。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → ショートムービーショーモード → ボタン

1 MENU（メニュー）ボタンを押し、撮影の設定をする

- [撮影回数]：動画（素材）の記録時間と撮影回数の組み合わせを選びます。初期設定では、2秒間の素材を15回撮影し、30秒間の動画を作成します。
- [スペシャルエフェクト]（33）：さまざまな効果をつけて撮影できます。効果は素材ごとに変更できます。
- [BGM]：バックグラウンドミュージックを選びます。ズームレバー（2）をT（Q）側に動かすと、試聴できます。
- 設定が終了したら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を終了してください。



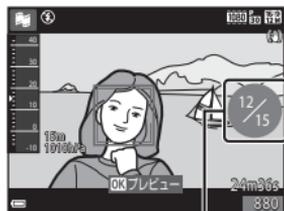
2 ●（ 動画撮影）ボタンを押して、素材を撮影する

- 手順1で設定した素材の記録時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。
- 一連の撮影は、一時的に中断できます。→「撮影の中断について」（41）



3 撮影した素材を確認、または削除する

- 確認するには、**OK** ボタンを押します。
- 削除するには、**削除** ボタンを押します。直前に撮影した素材、またはすべての素材を削除できます。
- 素材の撮影を続けるには、手順2の操作を繰り返します。
- 効果を変更するには、手順1に戻ります。



撮影回数

4 ショートムービーショーを保存する

- 設定した回数の素材を撮影し終わると、ショートムービーショーが保存されます。
- 設定した回数の撮影を終える前にショートムービーショーを保存するには、撮影待機画面で**MENU** ボタンを押し、**[撮影終了]** を選びます。
- 保存すると、素材は削除されます。

素材確認中の操作

音量を調整するには、再生中にズームレバー（□□2）を動かします。

画面に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



操作パネル

機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀◀	OKボタンを押している間、巻き戻しします。
早送り	▶▶	OKボタンを押している間、早送りします。
一時停止		一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		◀◀ コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶▶ コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
	▶ 再生を再開します。	
再生終了	■	撮影の待機画面に戻ります。
撮影終了	■	撮影済みの素材でショートムービーショーを保存します。

✓ 撮影時のご注意

- メモリーカードを入れていないと、撮影できません。
- ショートムービーショーを保存するまでは、メモリーカードを交換しないでください。

撮影の中断について

- 待機画面でシャッターボタンを押すと、静止画（[[機 4608x2592]]）を撮影できます。
- 撮影を中断して、他のモードに切り換えて撮影や再生ができます。再度ショートムービーショーモードを選ぶと、素材の撮影を再開できます。

ショートムービーショーモードで設定できる機能

- セルフタイマー（[[46]]）
- マクロモード（[[47]]）
- 露出補正（[[48]]）
- ショートムービーショーメニュー（[[38]]）
- 動画メニュー（[[100]]）

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 📷 (オート撮影) モード → Ⓜ ボタン

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択] (📖88) の設定によって異なります。
初期設定は、[ターゲットファインドAF] (📖53) です。

📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- クリエイティブスライダー (📖43)
- フラッシュモード (📖44)
- セルフタイマー (📖46)
- マクロモード (📖47)
- 撮影メニュー (📖80)

クリエイティブスライダーを使う

明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いを調節して撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （オート撮影）モード → ボタン

1 マルチセレクターの▶を押す



2 ◀▶で項目を選ぶ

- [色合い]: 画像全体の色合い（赤み/青み）を調節します。
- [鮮やかさ]: 画像全体の鮮やかさを調節します。
- [明るさ（露出補正）]: 画像全体の明るさを調節します。



3 ▲▼で調節する

- 画面で調節の度合いを確認できます。
- 他の項目を設定するには、手順2に戻ります。
- スライダーを非表示にするには、 [終了] を選びます。
- すべての設定を取り消すには、 [リセット] を選び ボタンを押します。手順2からやり直してください。



ヒストグラム表示

4 設定が終了したら、 ボタンを押す

- 設定が反映され、撮影画面に戻ります。

クリエイティブスライダーの設定について

- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（[Q56](#)）。
- 明るさ（露出補正）、鮮やかさ、および色合いの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- ヒストグラム表示について → [Q48](#)

フラッシュモード

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲ (⚡) を押す



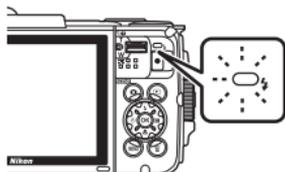
2 フラッシュモード (📖45) を選び、**OK** ボタンを押す

- **OK** ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



フラッシュランプについて

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。
 - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
 - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
 - 消灯：発光しません。
- 電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中はモニターが消灯します。



フラッシュモードの種類

AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されません。

赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

発光禁止

フラッシュは発光しません。

- 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。

強制発光

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります (□49)。
-  (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。三脚などで固定して撮影するとき、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(□124)を「しない」にしてください。

1 マルチセレクターの◀ (☺) を押す



2 [☺10s] または [☺2s] を選び、OK ボタンを押す

- [☺10s] (10秒): 記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2秒) : 手ブレの軽減に適しています。
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの「ペット」のときは、 (ペット自動シャッター) が表示されます (□27)。セルフタイマーは使えません。
- 撮影モードがベストフェイスモードのときは、セルフタイマー以外に  「笑顔自動シャッター」(□35) や  「セルフコラージュ」(□36) も使えます。

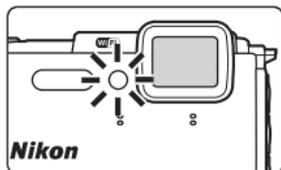


3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは「OFF」になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



マクロモード（接写する）

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

1 マルチセレクターの▼（👉）を押す



2 [ON] を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームレバーを動かし、👉マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする



- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
△マークのズーム位置では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。

✓ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

📎 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（📖49）。
- 📷（オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正（明るさを調節する）

画像全体の明るさを調節できます。

1 マルチセレクターの▶ (OK) を押す



2 補正值を選び、OK ボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- OK ボタンを押さなくても、補正值が設定されます。
- 撮影モードがベストフェイスモードのときは、メイクアップ効果が表示されます (□34)。
- 撮影モードが (オート撮影) モードのときは、クリエイティブスライダーが表示されます (□43)。



ヒストグラム表示

📌 露出補正の設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります (□49)。
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。

📌 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。

フラッシュやセルフタイマーなどの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ (□44)	セルフタイマー (□46)	マクロ (□47)	露出補正 (□48)
 (おまかせシーン)	 AUTO ^{*1}	OFF	OFF ^{*2}	0.0
 (シーン)				
 (ポートレート)	 	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (風景)	 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (タイムラプス動画)	 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0 ^{*4}
 (スポーツ)	 ^{*3}	OFF ^{*3}	OFF ^{*3}	0.0
 (夜景ポートレート)	  ^{*5}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (パーティー)	  ^{*6}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (ビーチ)	 AUTO	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (雪)	 AUTO	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (夕焼け)	 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (トワイライト)	 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (夜景)	 ^{*3}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (クローズアップ)	 ^{*3}	OFF	ON ^{*3}	0.0
 (料理)	 ^{*3}	OFF	ON ^{*3}	0.0
 (打ち上げ花火)	 ^{*3}	OFF ^{*3}	OFF ^{*3}	0.0 ^{*3}
 (逆光)	 ^{*7} 、  ^{*7}	OFF	OFF ^{*3}	0.0
 (かんたんパノラマ)	 ^{*3}	OFF ^{*3}	OFF ^{*3}	0.0
 (ペット)	 ^{*3}	 ^{*8}	OFF	0.0
 (水中)	 ^{*3}	OFF	OFF	0.0

	フラッシュ (□44)	セルフタイ マー (□46)	マクロ (□47)	露出補正 (□48)
 (スペシャルエフェクト)	Ⓢ	OFF	OFF	0.0
 (ベストフェイス)	⚡AUTO	OFF※9	OFF※3	—※10
 (ショートムービーショー)	Ⓢ※3	OFF	OFF	0.0
 (オート撮影)	⚡AUTO	OFF	OFF	—※11

- ※1 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。Ⓢ（発光禁止）に変更できます。
- ※2 変更できません。 に判別されるとマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 [星空/150分間撮影] と [星軌跡/150分間撮影] では、変更できません。
- ※5 変更できません。[三脚撮影] のときは、赤目軽減で強制発光します。
- ※6 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※7 [HDR] が [OFF] のときは⚡（強制発光）に、[HDR] が [ON] のときはⓈ（発光禁止）に固定されます。
- ※8 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター (□27) の ON/OFF を設定できます。
- ※9 セルフタイマー以外に  [笑顔自動シャッター] (□35) や  [セルフコラージュ] (□36) も使えます。
- ※10 メイクアップ効果が表示されます (□34)。
- ※11 クリエイティブスライダーが表示されます (□43)。

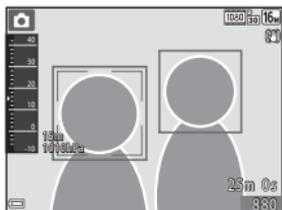
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- （おまかせシーン）モード（21）
- シーンモード（23）の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード（34）
- （オート撮影）モード（42）で [AFエリア選択]（88）を [顔認識オート] に設定時



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

- （おまかせシーン）モードでは、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート]、またはベストフェイスモードでは、画面中央にピントが合います。
- （オート撮影）モードでは、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

動画撮影時の顔認識について

動画撮影時、動画メニューで [AFエリア選択]（104）を [顔認識オート] に設定すると、顔にピントを合わせて撮影できます。

顔を認識していない状態で （動画撮影）ボタンを押した場合は、画面中央にピントが合います。

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード (☞34)
 - [美肌] で効果の度合いを設定できます。
- 画（おまかせシーン）モード (☞21)
- シーンモード (☞23) の [ポートレート]、[夜景ポートレート]

撮影後にも、記録した画像に [メイクアップ効果] で [美肌] などの編集ができます (☞67)。

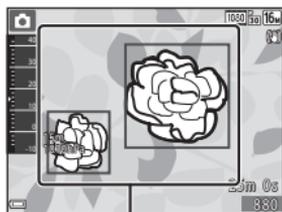
美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなる場合があります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

ターゲットファインドAFについて

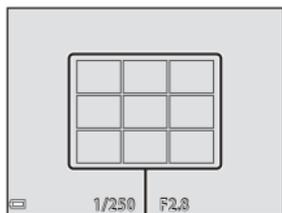
📷 (オート撮影) モードの [AFエリア選択] (📷88) が [ターゲットファインドAF] のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。



AF エリア

✔ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス] の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□55）をお試しください。

フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

- 1  (オート撮影) モードで [AFエリア選択] を [中央] に設定する (☞88)

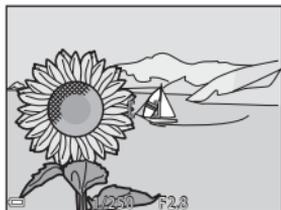
- 2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



- 3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



- 4 シャッターボタンを全押しして撮影する



撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (☞84)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (☞93)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、フラッシュは使えません。
	水中フラッシュ (☞126)	[水中フラッシュ] を [する] にすると、[赤目軽減自動発光] は選べません。[赤目軽減自動発光] を先に選んでいた場合は、[自動発光] に変更されます。
セルフタイマー	AFエリア選択 (☞88)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (☞88)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写 (☞84)	連写の設定によって、[画像モード] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] 時：  (画像サイズ：1280×960ピクセル) • [高速連写 120 fps] 時：  (画像サイズ：640×480ピクセル) • [高速連写 60 fps] 時：  (画像サイズ：1280×960ピクセル)
ホワイトバランス	クリエイティブスライダーの色合い (☞43)	クリエイティブスライダーで [色合い] を調節すると、[ホワイトバランス] は設定できません。
連写	セルフタイマー (☞46)	[先取り撮影] に設定時、セルフタイマーにすると、[単写] に固定されます。

制限される機能	設定	内容
ISO感度設定	連写 (☞84)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[ISO 感度設定] は [オート] に固定されます。
AFエリア選択	ホワイトバランス (☞82)	[ターゲットファインドAF] 時、[ホワイトバランス] を [オート] 以外にすると、主要な被写体は検出しません。
目つぶり軽減	セルフコラージュ (☞36)	[セルフコラージュ] にすると、[目つぶり軽減] は作動しません。
日付写し込み	連写 (☞84)	[単写] 以外にすると、日時を写し込みません。
	目つぶり軽減 (☞93)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、日時を写し込みません。
静止画手ブレ補正	フラッシュモード (☞44)	[する (ハイブリッド)] に設定時、フラッシュが発光する場合、[する] で動作します。
	セルフタイマー (☞46)	[する (ハイブリッド)] に設定時、セルフタイマーにすると、[する] で動作します。
	連写 (☞84)	[する (ハイブリッド)] に設定時、[単写] 以外にすると、[する] で動作します。
	ISO感度設定 (☞87)	[する (ハイブリッド)] に設定時、ISO感度を [感度制限オート] またはISO 400以上に設定すると、[する] で動作します。

制限される機能	設定	内容
電子ズーム	AFエリア選択 (☞88)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写 (☞84)	[単写] 以外にすると、シャッター音は鳴りません。

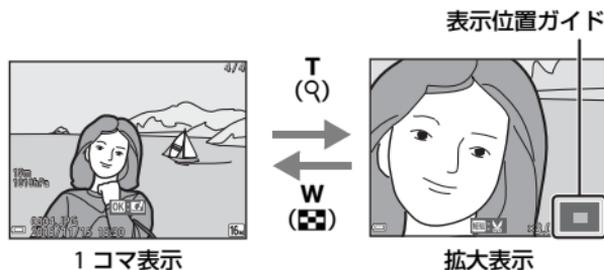
電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません (☞125)。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示（15）でズームレバーを**T**（拡大表示）側に動かすと、拡大表示されます。



- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W** ）/**T**（）を動かします。
- 表示位置を移動するには、マルチセクターの▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中にボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。



画像をトリミングするには

拡大表示中に**MENU** ボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます（70）。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示 (□□15) でズームレバーをW (☒サムネイル表示) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



- 表示コマ数は、ズームレバー (W (☒) / T (Q)) で変更できます。
- サムネイル表示でマルチセクターの▲▼◀▶を押して、画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で▲▼◀▶を押して、日付を選んでOKボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2015年1月1日」の画像として扱われます。

撮影日一覧モード

▶ ボタンを押す（再生モード） → ▶ ボタン → 撮影日一覧 → OK ボタン

マルチセレクターの▲▼で日付を選び、OK ボタンを押すと、選んだ撮影日の画像を再生します。

- 選んだ撮影日の画像を対象に、再生メニュー（▶▶94）の機能が使えます（[画像コピー]を除く）。
- 撮影日の選択画面では、以下の操作ができます。

- MENU ボタン：以下の機能が使えます。

- スライドショー
- プロテクト設定*

※ 選んだ撮影日の画像をすべて同じ設定にできます。

- 削除ボタン：選んだ撮影日の画像を、すべて削除します。

撮影日一覧		
	2015/11/20	[3]
	2015/11/15	[2]
	2015/11/10	[1]
	2015/11/05	[10]

✓ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は、最新の撮影日から過去 29 日分までです。それ以前の画像は、[過去画像] に分類されます。
- 表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2015年1月1日」の画像として扱われます。

連写した画像(連写グループ)の再生と削除

連写グループの再生方法

連写した画像やセルフコラージュで撮影した画像は「連写グループ」として保存されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマ目を代表画像として表示します(初期設定)。セルフコラージュで撮影した画像の場合は、コラージュ画像を代表画像として表示します。

グループ内の画像を1コマずつ表示するには、**OK** ボタンを押します。

OK ボタンを押したあとの操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、マルチセクターの◀▶を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、▲を押し、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生したいときは、再生メニュー [連写グループ表示方法] を [1枚ずつ] にしてください (□98)。



✓ 連写グループの表示方法について

このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

📎 連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中に **MENU** ボタンを押すと、再生メニュー (□94) の機能が選べます。
- 代表画像で **MENU** ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
 - Wi-Fi送信画像の指定、プロテクト設定、画像コピー

連写グループの画像を削除する

連写グループでは、 (削除) ボタンを押すと、表示している画像によって削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
 - [表示画像]： 表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]：削除画像の選択画面 (17) で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
 - [全画像]： メモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中：
 - [表示画像]： 表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]：グループ内の画像を選択して削除します。
 - [表示グループ]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。



画像編集の制限

- 画像は10回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。

クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）

クイックエフェクトの種類	内容
絵画調/フォトイラスト/ソフトポートレート/ 背景モノクロポートレート/魚眼効果/ クロススクリーン/ミニチュア効果	画像を加工して、さまざまな効果を付けます。
かすみ取り	水中での撮影などで起こりがちな画像のかすみを軽減します。

- 1 効果を付けたい画像を1コマ表示して、**OK** ボタンを押す



- 2 マルチセクターの▲▼◀▶で効果を選び、**OK** ボタンを押す

- ズームレバー（**Q**）を **T** (**Q**) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (**Q**) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、**MENU** ボタンを押します。



3 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

▶ ボタンを押す（再生モード） → 画像を選ぶ → MENU ボタン →
簡単レタッチ → **OK** ボタン

マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、**OK** ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀を押します。



D-ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する)

▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → D-ライティング → OK ボタン

マルチセクターの▲▼で [実行] を選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、[キャンセル] を選び、OK ボタンを押します。



赤目補正 (フラッシュ撮影による赤目を補正する)

▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → 赤目補正 → OK ボタン

効果を確認し、OK ボタンを押す

- 中止するときは、マルチセクターの◀を押します。



✓ 赤目補正についてのご注意

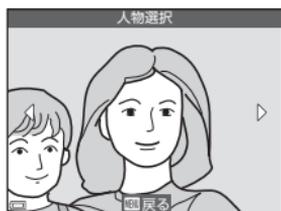
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ペット (犬または猫) の場合、目の色が赤以外の場合でも補正されます。
- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン →
メイクアップ効果 → OK ボタン

1 マルチセクターの▲▼◀▶で編集する人物を選び、OK ボタンを押す

- 検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでください。



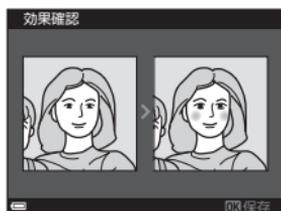
2 ◀▶で効果の種類を、▲▼で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- 同時に複数の効果を付けられます。
OK ボタンを押す前に、すべての効果を設定または確認してください。
- 😊 (小顔)、👄 (美肌)、👁 (ファンデーション)、👂 (テカリ軽減)、😁 (クマ軽減)、👁 (ビッグアイ)、👁 (ホホワイトアイ)、👁 (アイシャドウ)、👁 (マスカラ)、👄 (歯のホワイトニング)、👄 (リップカラー)、👄 (チーク)
- 人物の選択画面に戻るには、MENU ボタンを押します。



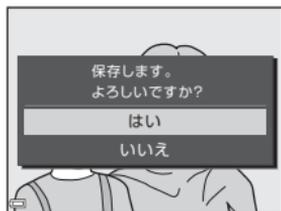
3 効果を確認し、OK ボタンを押す

- 設定をやり直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、MENU ボタンを押します。



4 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



✓ **メイクアップ効果についてのご注意**

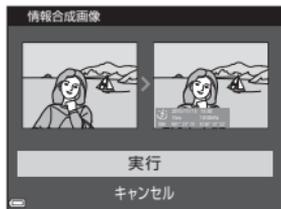
- 一回で編集できる顔は1人です。別の顔にメイクアップ効果をつけるには、編集済み画像を再編集します。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- ISO感度が1600以下の条件で撮影した画像のみ、メイクアップ効果の編集ができます。

情報合成画像 (高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む)

▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → 情報合成画像 → **OK** ボタン

マルチセレクターの▲▼で [実行] を選び、**OK** ボタンを押す

- 画像に写し込まれる情報は、画像に記録された高度/水深、気圧、電子コンパス、日時、緯度、経度です (□□119、132、140)。
- 中止するときは、[キャンセル] を選び、**OK** ボタンを押します。



✓ **情報合成画像についてのご注意**

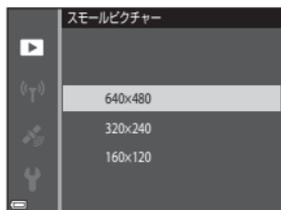
- 画像に記録されていない情報は写し込まれません。
- 画像サイズが小さい画像の場合は情報が正常に表示されないことがあります。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ ボタンを押す(再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン → スモールピクチャー → OK ボタン

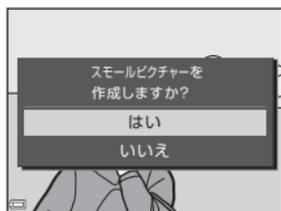
1 マルチセクターの▲▼でスモールピクチャーのサイズを選び、OK ボタンを押す

- [設定] 4608×2592 の画像は640×360のサイズになり、[設定] 3456×3456 の画像は480×480のサイズになります。OK ボタンを押して手順2へ進んでください。



2 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/8）。



トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（☞59）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENU（メニュー）ボタンを押す

- ズームレバーを**T** (Q) または**W** (☒) 側に動かして拡大率を調節します。☒:⌘が表示される拡大率にしてください。
- マルチセレクターの▲▼◀▶で表示範囲を移動します。



3 トリミング範囲を確認し、OKボタンを押す



4 [はい] を選び、OKボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



画像サイズについて

- トリミング後のアスペクト比（横：縦）は、元画像と同じです。
- トリミングして画像サイズが 320×240 以下になった画像は、再生画面で画像が小さく表示されます。

動画の撮影と再生

1 撮影画面を表示する

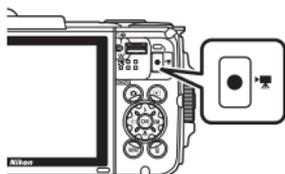
- 記録できる時間を確認します。



動画の記録可能時間

2 ● (📹 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択] (📖104) の設定によって異なります。
- マルチセレクターの▶を押すと撮影を一時停止し、もう一度▶を押すと撮影を再開します。([動画設定] をHS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます (📖74)。



3 ● (📹 動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、Ⓚボタンを押して再生する

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。



動画設定

動画の写る範囲

- 動画の写る範囲は、動画メニューの「**動画設定**」によって異なります。
- セットアップメニューの「**モニター設定**」(□□121)の「**モニター表示設定**」で「**動画枠+情報オート**」にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。

動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって異なることがあります。
- 動画撮影には、SDスピードクラスが**Class 6**以上のメモリーカードをおすすめします(□□197)。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数(🕒10s)が画面に表示されます。自動終了後、電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画撮影についてのご注意

✓ 撮影後の記録についてのご注意

- 撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。
- 内蔵メモリーを使うと、動画の記録に時間がかかることがあります。
- 動画のファイルサイズによっては、内蔵メモリーに記録できないことがあります。また、メモリーカードから内蔵メモリーにコピーできないことがあります。

✓ 記録した動画についてのご注意

- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、動画手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中のモニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

- 動画メニューの【動画手ブレ補正】（□106）を【する（ハイブリッド）】に設定すると、動画撮影時に画角（写る範囲）が狭くなります。
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐため、【動画手ブレ補正】を【しない】に設定してください。

✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（□54）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの【AFエリア選択】を【中央】に、【AFモード】を【シングルAF】（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（▶ 動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます。静止画の記録中でも動画撮影が続きます。

- 画面に 📷 が表示されているときに記録できます。表示が 📷 のときは記録できません。
- 記録される画像サイズは、[動画設定] (📖100) によって異なります。

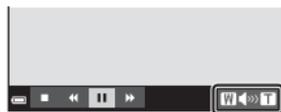


✓ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
 - 動画撮影の一時停止中
 - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
 - [動画設定] が [1080p 1080/60i]、[1080p 1080/50i]、[480p 480/30p]、[480p 480/25p]、HS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

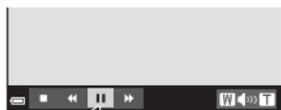
動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー (📏) を動かします。



音量表示

画面に操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、
Ⓞ ボタンを押すと以下の操作ができます。



一時停止時

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀	Ⓞ ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶	Ⓞ ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。	
		◀	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
		▶	再生を再開します。
		📏	撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
再生終了	■	撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。	
		1コマ表示に戻ります。	

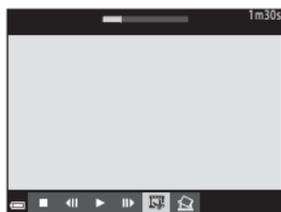
動画の編集

動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

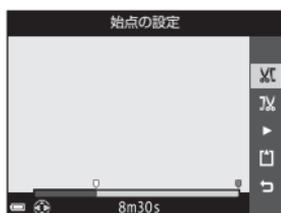
- 1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (□75)

- 2 マルチセクターの◀▶で操作パネルの🎞️を選び、Ⓚボタンを押す



- 3 ▲▼で編集操作パネルの🕒 (始点の設定) を選ぶ

- ◀▶で始点を調節します。
- 編集を中止するには、⏪ (戻る) を選び、Ⓚボタンを押します。



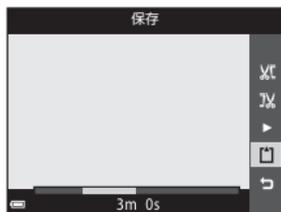
- 4 ▲▼で🕒 (終点の設定) を選ぶ

- ◀▶で終点を調節します。
- 設定した範囲をプレビューするには、▶を選び、Ⓚボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度Ⓚボタンを押します。



- 5 ▲▼で📁 (保存) を選び、Ⓚボタンを押す

- 画面に従って保存します。



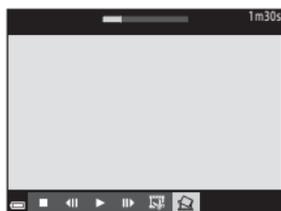
✓ 動画編集についてのご注意

- 編集中に電源が切れないよう、充分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示がのときは、動画編集の操作はできません。
- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します (📺75)。
- マルチセレクターの◀▶で操作パネルのを選び、**OK** ボタンを押します。



- 確認画面で **はい** を選び、**OK** ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は標準 (圧縮率約1/8) です。画像サイズは元の動画の種類 (画像サイズ) (📺100) によって異なります。

例えば、 **1080/30p** または  **1080/25p** で撮影した動画から保存した静止画は、 (1920×1080ピクセル) になります。

✓ 静止画保存についてのご注意

 **1080/60i**、 **1080/50i**、 **480/30p**、 **480/25p**、HS動画 (📺101) で撮影した動画は静止画保存ができません。

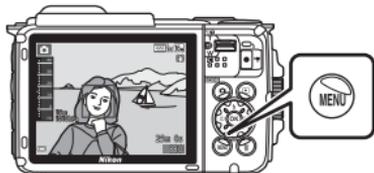
メニューを使う

MENU (メニュー) ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- **撮影メニュー**
撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
画像サイズと画質の組み合わせや、連続撮影の設定などを変更できます。
- **再生メニュー**
1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと設定できます。
画像の編集や、スライドショーの再生などができます。
- **動画メニュー**
撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
動画撮影についての設定ができます。
- **Wi-Fi設定メニュー**
カメラとスマートデバイスを接続する設定ができます。
- **位置情報設定メニュー**
位置情報機能に関する設定ができます。
- **セットアップメニュー**
日時や表示言語など、カメラに関する基本的な設定ができます。

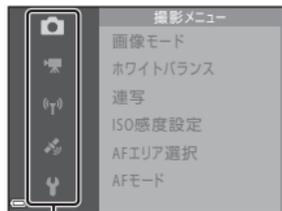
1 MENU (メニュー) ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの ◀ を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニュー切り換えアイコン

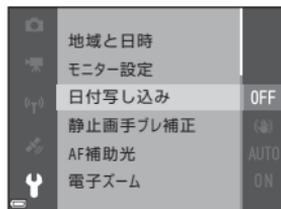
3 メニューアイコンを選び、**OK**ボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。



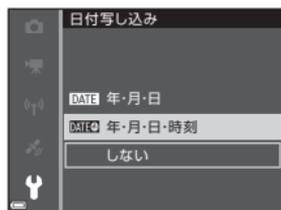
4 メニュー項目を選び、**OK**ボタンを押す

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。



5 設定内容を選び、**OK**ボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、**MENU**ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタン、**カメラ**ボタンまたは**電源**ボタンを押してください。



撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)

画像モード (画像サイズ/画質)

撮影画面にする※ → MENUボタン → 画像モード → Ⓜ️ボタン

※ オート撮影モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます。

記録する画像サイズ (画像の大きさ) と画質 (画像の圧縮率) の組み合わせを選びます。

画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低いほど高画質になりますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	圧縮率	アスペクト比 (横:縦)
16M* 4608×3456★	約1/4	4:3
16M 4608×3456 (初期設定)	約1/8	4:3
8M 3264×2448	約1/8	4:3
4M 2272×1704	約1/8	4:3
2M 1600×1200	約1/8	4:3
VGA 640×480	約1/8	4:3
16:9 12M 4608×2592	約1/8	16:9
11 3456×3456	約1/8	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例: **16M** 4608×3456: 約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

プリンターの設定を「フチあり」にしてください。プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

画像モードについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□56)。

記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます (□11)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

ホワイトバランス（色合いの調整）

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （オート撮影）モード → ボタン → MENUボタン → ホワイトバランス → ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマニュアル	〔オート〕や〔電球〕などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います（□83）。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスについてのご注意

- 〔オート〕、〔フラッシュ〕以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（□44）。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□56）。

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 マルチセレクターの▲▼で [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選び、**OK** ボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。



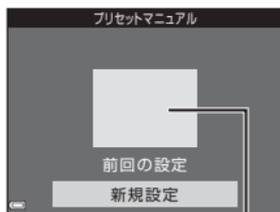
3 [新規設定] を選ぶ

- 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定] を選んで**OK** ボタンを押します。



4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収め、**OK** ボタンを押して測定する

- シャッターがきかれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。



測定窓

✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。

連写

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン → MENU ボタン → 連写 →  ボタン

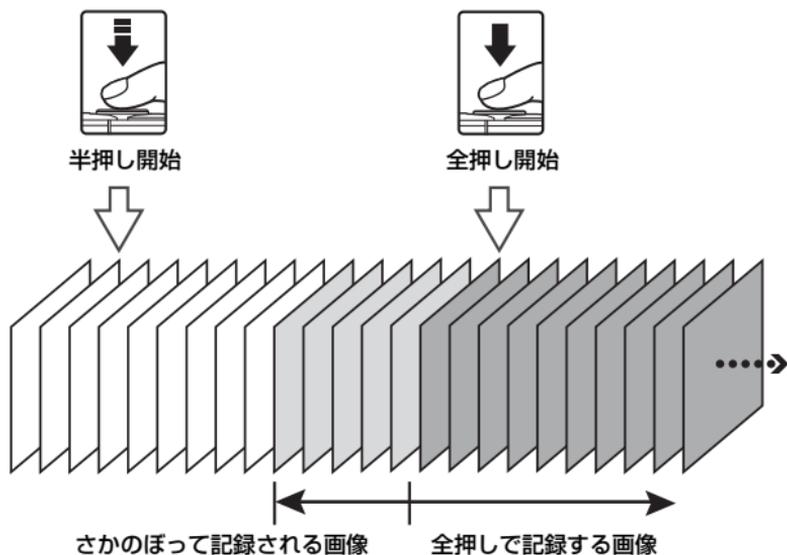
項目	内容
 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
 連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約7.0コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約5コマです (画像モード  4608×3456 時)。
 連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約2.2コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約10コマです (画像モード  4608×3456 時)。
 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します ( Q86)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約15.1コマ/秒、連続撮影可能コマ数は25コマ (先取り撮影の最大5コマを含む) です。画像モードは  11M (画像サイズ: 1280×960ピクセル) に固定されます。
 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約120コマ/秒、連続撮影可能コマ数は50コマです。画像モードは  12M (画像サイズ: 640×480ピクセル) に固定されます。
 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約60コマ/秒、連続撮影可能コマ数は25コマです。画像モードは  11M (画像サイズ: 1280×960ピクセル) に固定されます。

連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□56)。

先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン (📷) が緑色に変わります。

ISO感度設定

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン → MENU ボタン → ISO感度設定 →  ボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	ISO 125~1600の範囲で自動設定します。
 感度制限オート	自動設定範囲を [ISO 125-400]、[ISO 125-800] から選べます。
125、200、400、800、1600、3200、6400	ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度設定についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□56)。

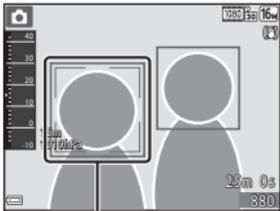
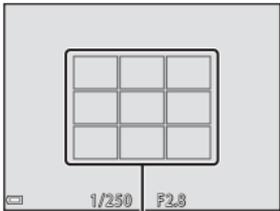
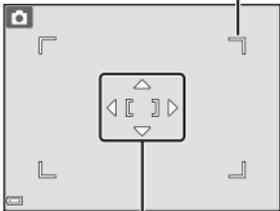
撮影画面のISO感度表示について

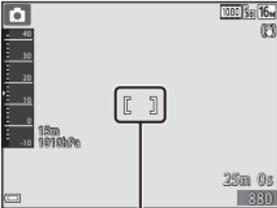
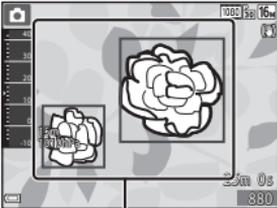
- [オート] 時は、感度が上がったときにISOが表示されます。
- [感度制限オート] 時は、感度の上限値が表示されます。

AFエリア選択

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → (オート撮影) モード → ボタン → MENU ボタン → AFエリア選択 → ボタン

静止画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
顔認識オート	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。 →「顔認識撮影について」(□□51)</p>  <p>AF エリア</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。</p>  <p>AF エリア</p>
マニュアル	<p>マルチセレクターの で、AFエリアを、ピントを合わせたい位置に移動できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチセレクターでフラッシュモードなどを設定したいときは、 ボタンを押します。AFエリアの移動に戻るには、もう一度 ボタンを押します。  <p>移動可能エリア</p> <p>AF エリア</p>

項目	内容
<p>【▪】 中央</p>	<p>画面中央の被写体にピントが合います。</p>  <p>AF エリア</p>
<p>📍 ターゲット追尾</p>	<p>動く被写体の撮影に使用します。ピントを合わせた被写体を登録すると、AF エリアが被写体を追いかけて移動します。→「ターゲット追尾の使い方」(□90)</p> 
<p>📍 ターゲットファインドAF (初期設定)</p>	<p>カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。→「ターゲットファインドAFについて」(□53)</p>  <p>AF エリア</p>

✓ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択] の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□56)。

📎 動画のAFエリア選択について

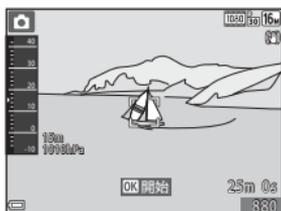
動画撮影時のAFエリア選択は、動画メニューの [AFエリア選択] (□104) で設定します。

ターゲット追尾の使い方

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (オート撮影) モード →  ボタン → MENU ボタン → AF エリア 選択 →  ボタン →  ターゲット追尾 →  ボタン → MENU ボタン

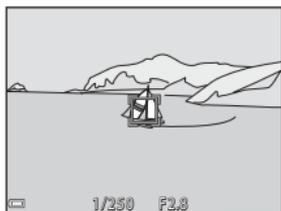
1 被写体を登録する

- 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、 ボタンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色い AF エリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、 ボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示が消えます。登録をやり直してください。



2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央の被写体にピントが合います。



ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。

AFモード（オートフォーカスモード）

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （オート撮影）モード → ボタン → MENUボタン → AFモード → ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししていないときも、ピントを合わせ続けます。常に動作音がします。
PREAF フリAF （初期設定）	シャッターボタンを半押ししていないときも、構図が大きく変わったときなどに、自動でピントを合わせます。



動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの **[AFモード]** (P105) で設定します。

ベストフェイスメニュー

- [画像モード] については、「画像モード (画像サイズ/画質)」(P80) をご覧ください。

セルフコラージュ

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  ベストフェイスモード →  ボタン → MENU ボタン → セルフコラージュ →  ボタン

項目	内容
撮影回数	自動撮影する回数 (集約画像のコマ数) を設定します。 • [4回] (初期設定) と [9回] から選びます。
撮影間隔	1コマの撮影から次の撮影に移るまでの時間を設定します。 • [短い]、[中間] (初期設定)、[長い] から選びます。
シャッター音の設定	セルフコラージュで撮影するときのシャッター音を設定します。 • [標準]、[一眼レフ風]、[マジカル] (初期設定)、[なし] から選びます。 • セットアップメニューの [操作音] の [シャッター音] とは連動していません。

目つぶり軽減

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → ベストフェイスモード → ボタン → MENU ボタン → 目つぶり軽減 → ボタン

項目	内容
する	<p>撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。</p> <ul style="list-style-type: none">目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。フラッシュは使えません。
しない (初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。

目つぶり軽減についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (P56)。

再生メニュー

- 画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（[Q64](#)）をご覧ください。

Wi-Fi送信画像の指定

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → Wi-Fi送信画像の指定
→ Ⓚ ボタン

スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選べます。画像選択の画面で（[Q99](#)）、画像を選んでWi-Fi送信画像の指定または解除をします。

セットアップメニューの「[設定クリアー](#)」（[Q131](#)）またはWi-Fi設定メニューの「[設定の初期化](#)」（[Q108](#)）を実行すると、Wi-Fi送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。

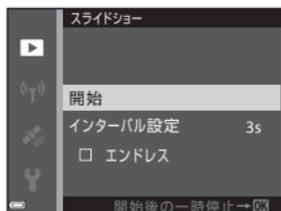
スライドショー

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → スライドショー → OK ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目のみを表示します。

1 マルチセレクターの ▲▼ で [開始] を選び、OK ボタンを押す

- スライドショーが始まります。
- [開始] を選ぶ前に [インターバル設定] を選び OK ボタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
- 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んで OK ボタンを押します。
- スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、■ を選び OK ボタンを押します。再開するには、▶ を選び OK ボタンを押します。



再生中の操作

- マルチセレクターの ◀▶ でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、OK ボタンを押します。

プロテクト設定

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → プロテクト設定 → OK ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面で (□□99)、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。

メモリーカード/内蔵メモリーを初期化 (フォーマット) (□□129) すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像回転

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → 画像回転 → OK ボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き (縦横位置) を設定します。

静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと (□□99)、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押すと90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転

OK ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

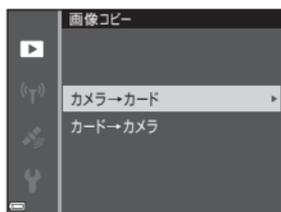
画像コピー（メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → 画像コピー → OK ボタン

メモリーカードの画像を内蔵メモリーへ、または内蔵メモリーの画像をメモリーカードへコピーできます。

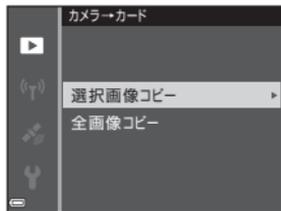
- 画像が記録されていないメモリーカードを入れて、再生モードに切り換えると「**撮影画像がありません。**」と表示されますが、MENU ボタンを押すと「**画像コピー**」を選べます。

1 マルチセレクターの▲▼でコピーする方向を選び、OK ボタンを押す



2 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

- 「**選択画像コピー**」を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます（□□99）。
- 「**カード→カメラ**」を選んだときは、全画像コピーはできません。



メニューを使う

✓ 画像コピーについてのご注意

- このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。

📎 連写グループの画像コピーについて

- 「**選択画像コピー**」で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- グループ内画像の表示中にMENU ボタンを押したときは、「**カード→カメラ**」方向のみコピーできます。「**表示グループコピー**」を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。

連写グループ表示方法

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → 連写グループ表示方法 → Ⓚ ボタン

連写グループ (□□62) の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
Ⓚ 1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。 再生画面でⓀが表示されます。
□ 代表画像のみ (初期設定)	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されません。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセクターの◀▶で画像を選ぶ

- ズームレバー (📖2) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (🎯) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- [画像回転] の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ



2 ▲▼でON/OFF (またはプリント枚数) を設定する

- ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 Ⓚ ボタンを押して画像選択を決定する

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする → MENUボタン → メニューアイコン → 動画設定 → ボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画（[□101](#)）があります。選べる項目は、[フレームレート設定]によって異なります（[□107](#)）。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします（[□197](#)）。

通常速度の動画

項目 (画像サイズ/フレームレート※、 記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横：縦)
 1080/30p  1080/25p (初期設定)	1920×1080	16:9
 1080/60i  1080/50i	1920×1080	16:9
 720/30p  720/25p	1280×720	16:9
 480/30p  480/25p	640×480	4:3

※ インターレース方式では fields/sです。

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）」（□□103）

項目	画像サイズ アスペクト比（横：縦）	内容
  HS 480/4倍	640×480 4:3	1/4の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間※：15秒（再生時間：1分）
  HS 1080/0.5倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 • 最長撮影時間※：2分（再生時間：1分）

※ 撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができます。表中の最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

HS動画についてのご注意

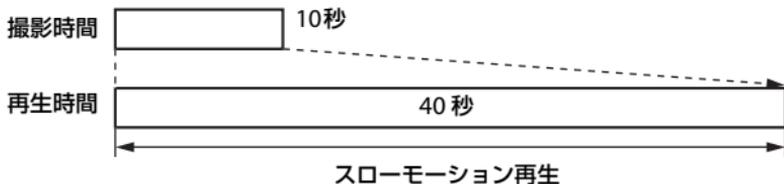
- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。

スローモーション再生と早送り再生について

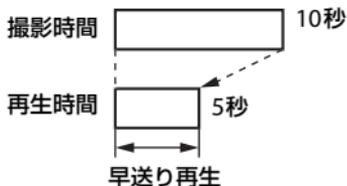
通常速度で撮影した場合：



【480p HS 480/4倍】 / 【480p HS 480/4倍】 で撮影した場合：
通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。
再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



【1080p HS 1080/0.5倍】 / 【1080p HS 1080/0.5倍】 で撮影した場合：
通常速度の1/2のスピードで撮影します。
再生時は、2倍の速さで早送り再生します。



スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 動画設定 → OK ボタン

HS（ハイスピード）動画で撮影すると、通常再生の1/4の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

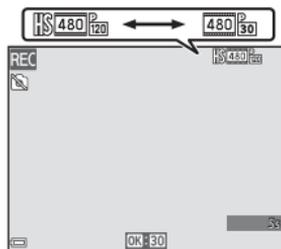
1 マルチセレクターの▲▼でHS動画（101）を選び、OK ボタンを押す

- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。



2 ● (動画撮影) ボタンを押して、撮影を開始する

- HS動画で撮影が始まります。
- 撮影中にOKボタンを押すと、HS動画と通常速度の撮影が切り換わります。
- 動画設定アイコンの表示は、HS動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。
- HS動画の最長撮影時間（101）が経過すると、自動的に通常速度の動画撮影に切り換わります。



3 ● (動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

AFエリア選択

撮影画面にする → MENU ボタン → メニューアイコン →
AFエリア選択 → ボタン

動画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
 顔認識オート (初期設定)	カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います (□51)。 動画メニューの [AFモード] が [シングルAF] のときは、[顔認識オート] に設定していても、画面中央の被写体にピントが合います。
[▪] 中央	画面中央の被写体にピントが合います。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[中央] に固定されます。
- [動画手ブレ補正] を [する (ハイブリッド)] にして、かつ [動画設定] を [1080 1080/60i] / [1080 1080/50i] に設定したときは、[中央] に固定されます。

AFモード

撮影画面にする → MENUボタン → メニューアイコン → AFモード → ボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。

動画手ブレ補正

撮影画面にする → MENU ボタン → メニューアイコン → 動画手ブレ補正 → ボタン

動画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] にしてください。

項目	内容
 * する (ハイブリッド) (初期設定)	レンズシフト方式で光学的に補正すると同時に、画像処理で電子的に補正します。画角 (写る範囲) は狭くなります。
 する	レンズシフト方式で手ブレを補正します。
しない	補正をしません。

動画手ブレ補正についてのご注意

- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[動画手ブレ補正] を [する (ハイブリッド)] に設定しても、レンズシフト方式のみで手ブレを補正します。

動画照明

撮影画面にする → MENU ボタン → メニューアイコン → 動画照明 → ボタン

動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
する	動画撮影中に動画照明が点灯します。
しない (初期設定)	動画照明は点灯しません。

風切り音低減

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → 風切り音低減 → OK ボタン

項目	内容
ONにする	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなる場合があります。
しない(初期設定)	風切り音を低減しません。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

フレームレート設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → フレームレート設定 → OK ボタン

動画撮影時のフレームレート（インターレース方式では fields/s）を選びます。フレームレートの設定を切り換えると、[動画設定]（100）で選べる項目が変わります。

項目	内容
30 fps (30p/60i)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25 fps (25p/50i)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。

Wi-Fi設定メニュー

MENU ボタンを押す → (📷)メニューアイコン → (📶)ボタン

カメラとスマートデバイスを接続するためWi-Fi（無線LAN）ネットワーク情報を設定します。

項目	内容
スマートデバイスと接続	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（📶146）
カメラ内画像の送信	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（📶146） • 無線接続をする前に、画像選択の画面で送信する画像を選択できます（📶99）。画像を選択した後、カメラのSSIDとパスワードが画面に表示されます。
Wi-Fi OFF	カメラとスマートデバイスの無線接続を終了するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（📶146）
設定	SSID：SSIDを変更できます。ここで設定したSSIDが、スマートデバイスに表示されます。英数字の1～24桁で設定します。
	認証/暗号：スマートデバイスと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN]（初期設定）のときは、暗号化しません。
	パスワード：パスワードを設定します。英数字の8～16桁で設定します。
	チャンネル：無線接続で使用するチャンネルを設定します。
	サブネットマスク： 通常は初期設定（[255.255.255.0]）のままお使いください。
	DHCPサーバー IPアドレス： 通常は初期設定（[192.168.0.10]）のままお使いください。
現在の設定	現在の設定を一覧表示します。
設定の初期化	Wi-Fiの設定を初期設定に戻します。

文字入力画面の操作方法

[SSID]、[パスワード] の文字入力

- マルチセクターの▲▼◀▶でキーボードの英数字を選択します。OKボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの←または→を選んでOKボタンを押します。
- 1文字削除するには、☒ボタンを押します。
- 設定を確定するには、キーボードの↵を選んでOKボタンを押します。



[チャンネル]、[サブネットマスク]、[DHCPサーバー IPアドレス] の文字入力

- マルチセクターの▲▼で数値を設定します。▶またはOKボタンを押すと、次の桁に移動します。◀を押すと、前の桁に戻ります。
- 設定を確定するには、一番最後の桁を選んでOKボタンを押します。



位置情報設定メニュー

- 地図の表示中にMENUボタンを押すと、位置情報設定メニューを直接表示します。

位置情報設定

MENUボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン → 位置情報設定 →  ボタン

項目	内容
位置情報記録機能	[する] にすると、測位衛星から電波を受信し、測位が始まります (□133)。 <ul style="list-style-type: none">• 初期設定：[しない]
A-GPSファイル更新	メモリーカードを使ってA-GPS (アシストGPS) ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。 <ul style="list-style-type: none">• A-GPS ファイルの更新方法 → □110
位置情報消去	画像に記録された位置情報やPOI情報を消去します。MENUボタンを押す前に、位置情報やPOI情報を消去したい画像を選んでください。 <ul style="list-style-type: none">• 削除した位置情報やPOI情報は元に戻せません。• このカメラ以外で撮影した画像の位置情報は、消去できません。

A-GPSファイルの更新方法

下記のウェブサイトから最新のA-GPSファイルをダウンロードして、更新してください。

<http://nikonimglib.com/agps3/>

- COOLPIX AW130用のA-GPSファイルは、上記ウェブサイト以外では、入手できません。

- 1 ウェブサイトから最新のA-GPSファイルをパソコンにダウンロードする

- ダウンロードしたファイルをカードリーダーなどを使って、メモリーカードの「NCFL」フォルダーにコピーする
 - 「NCFL」フォルダーはメモリーカードの直下にあります。メモリーカード内に「NCFL」フォルダーがない場合は、フォルダーを新規作成してください。
- ファイルをコピーしたメモリーカードをカメラに入れる
- カメラの電源を入れる
- MENU ボタンを押して位置情報設定メニューを表示し、マルチセクターで【位置情報設定】を選ぶ
- 【A-GPSファイル更新】を選び、ファイルを更新する
 - ファイルの更新終了まで、約2分かかります。

A-GPSファイル更新についてのご注意

- A-GPS ファイルは、ご購入後はじめての測位では無効です。2回目の測位から有効になります。
- A-GPS ファイルの有効期限は、更新画面で確認できます。有効期限が切れている場合は、有効期限がグレーで表示されます。
- A-GPS ファイルの有効期限が切れている場合は、位置情報の測位は早くなりません。A-GPS ファイルは位置情報機能を使う前に更新することをおすすめします。

距離単位

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
距離単位 →  ボタン

地図表示の距離単位を [km(m)] (キロメートル、メートル) (初期設定) または [mi(yd)] (マイル、ヤード) から選べます。

距離計算

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 地図を表示する（136）→ MENU ボタン → （位置情報設定）メニューアイコン → 距離計算 →  ボタン

現在地から画像の撮影場所、または画像と画像の撮影場所間の直線距離を計算します。

1 マルチセクターの▲▼で距離計算する対象を選び、 ボタンを押す

- ・ [現在地⇔画像] を選んだときは、現在の確認が始まります。手順3に進んでください。



2 ◀▶で起点となる画像を選び、 ボタンを押す

- ・ 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー（W  / T ）を操作します。



3 ◀▶で終点となる画像を選ぶ

- ・ 画像を選ぶごとに、画面に距離が表示されます。
- ・  ボタンを押すと、距離計算を終了します。



距離

距離計算についてのご注意

- ・ 画像に位置情報が記録されていない場合は、距離計算はできません。
- ・ [現在地⇔画像] で距離計算をするには、現在地が測位できている必要があります（132）。

POI設定（地名情報を記録、表示する）

MENU ボタンを押す → （位置情報設定）メニューアイコン → POI設定 →  ボタン

POI（Point of interest、地名情報）に関する設定をします。

項目	内容
POI記録	撮影する画像に地名情報を記録するか設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 初期設定：[しない]• 地名情報は、静止画にも、動画にも記録できます。
POI表示設定	撮影画面や再生画面に地名情報を表示するか設定します（  , 5）。 <ul style="list-style-type: none">• 再生画面では、[POI 記録] を [する] にして撮影した画像に、撮影時の地名情報を表示します。• 初期設定：[しない]
POI表示レベル設定	地名情報の表示レベルを設定します。高レベルを選ぶほど、地域情報が詳細になります。 <ul style="list-style-type: none">• レベル 1：国名を表示します。• レベル 2～5：表示内容は、国によって異なります。• レベル 6：ランドマーク名（施設名）を表示します。
POI情報編集	MENU ボタンを押す前に、編集したい画像を選んでください。 <ul style="list-style-type: none">• [POI 変更]：画像に記録された地名情報を変更できます。<ul style="list-style-type: none">- レベル 6 を選んでいるときに、マルチセクターの  を押すと、ランドマーク名を変更できます。- マルチセクターの  を押すと、POI 情報のレベルを変更できます。• [POI 削除]：画像に記録されている地名情報を削除します。

POI表示について

設定した表示レベルに地名情報がない場合は、地名情報が表示されない、または「---」と表示される場合があります。

ログ取得

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン → ログ取得 →  ボタン

ログ取得の開始と終了およびログの保存をします (□141)。

項目	内容
全ログ取得開始※	位置情報、高度情報、水深情報のログを取得します。 <ul style="list-style-type: none">• ログを取得する間隔と時間を選んでください。初期設定は 15 秒間隔で 24 時間です。
位置情報ログ取得開始※	位置情報のログを取得します。 <ul style="list-style-type: none">• ログを取得する間隔と時間を選んでください。初期設定は 15 秒間隔で 24 時間です。
水深ログ取得開始※	水深のログを取得します。 <ul style="list-style-type: none">• ログを取得する間隔を選んでください。初期設定は 1 分間隔です。ログを取得する時間は 1 時間に固定です。

※ 未保存のログがある場合は、選択できません。[全ログ取得終了]、[位置情報ログ取得終了] または [水深ログ取得終了] を選び、ログを保存または消去してください。

ログデータ表示

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
ログデータ表示 →  ボタン

[ログ取得] (□□114) でメモリーカードに保存したログデータを確認または削除します。

項目	内容
位置情報ログ	表示したいログ (日付) を選んで  ボタンを押すと、位置情報ログを地図に表示します (□□144)。 •  (ゴミ箱) ボタンを押すと、選択中のログまたは保存されたすべての位置情報ログを消去できます。
高度/水深ログ	表示したいログ (日付) を選んで  ボタンを押すと、高度情報または水深情報をグラフで表示します (□□145)。 •  (ゴミ箱) ボタンを押すと、選択中のログまたは保存されたすべての高度/水深ログを消去できます。

衛星による日時合わせ

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
衛星による日時合わせ →  ボタン

測位衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します。測位状態を確認してから、日時合わせをしてください。

衛星による日時合わせについてのご注意

- 設定するには、測位できている必要があります (□□132)。
- [衛星による日時合わせ] は、セットアップメニューの [地域と日時] (□□119) で設定したタイムゾーンに合わせて日時を設定します。[衛星による日時合わせ] をする前にタイムゾーンの設定をご確認ください。
- [衛星による日時合わせ] で設定した日時は、電波時計ほどには正確ではありません。[衛星による日時合わせ] で時刻が合わないときは、セットアップメニューの [地域と日時] で設定してください。

電子コンパス設定

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
電子コンパス設定 →  ボタン

項目	内容
コンパス表示	<p>撮影画面にコンパス (方位計) を表示するか設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初期設定: [しない] • 計測した方位情報をもとに、カメラを向けた方位を表示します。 • コンパス表示は、カメラのレンズを下に向けると円型 (方位磁石) の表示に切り換わり、赤い指針が北を指します。 <ul style="list-style-type: none"> - 表示方法: 北、東、南、西 - 表示範囲: 16方位 • 再生メニューの [情報合成画像] で画像に電子コンパスの表示を写し込みできます (P68)。
コンパス補正	<p>コンパスの方位が正しく表示されないときに、コンパスの補正をします。</p> <p>右の画面が表示しているときに、カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。</p> <div data-bbox="634 693 915 905" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="362 931 890 1223" data-label="Image"> </div>

電子コンパスについてのご注意

- カメラのレンズが上を向いているときは、電子コンパスは表示されません。
- このカメラの電子コンパスを登山などの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 以下のような物の近くでは、方位を正確に計測できないことがあります。
磁石、金属、電動機、家庭電化製品、送電線など
- 以下のような場所では、方位を正確に計測できないことがあります。
自動車、電車、船舶、航空機、建物や地下街などの中
- 位置情報を測位できないと、方位を正確に計測できないことがあります。

高度/水深設定

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン →
高度/水深設定 →  ボタン

項目	内容
高度計/水深計表示	撮影画面に高度計または水深計を表示するか設定します。 • 初期設定：[する]
高度/水深補正	高度または水深の補正を行います。 • [位置情報で補正]：位置情報記録機能を使って高度を補正します。 - 高度が表示された確認画面で [はい] を選び  ボタンを押すと、表示されている値で高度が補正されます。 - 水中では、補正できません。 • [手動補正]：高度または水深を入力して補正します。 - マルチセクターの ▲▼ で数値を変更、◀▶ で入力する桁数を変更します。 - 一番右の数値にカーソルがあるときに  ボタンを押すと、数値を決定します。 • [補正解除]：[位置情報で補正] または [手動補正] で設定した補正を解除します。 - 補正解除画面で [はい] を選び  ボタンを押すと、補正が解除されます。
高度/水深単位	高度/水深表示の距離単位を [m] (メートル) (初期設定) または [ft] (フィート) に設定します。

高度/水深設定についてのご注意

- [高度/水深補正] の [位置情報で補正] で補正するには、位置情報設定メニュー [位置情報設定] の [位置情報記録機能] が [する] で、4つ以上の衛星から受信して測位できている必要があります (□132)。
- [高度計/水深計表示] が [する] のとき、高度計/水深計および高度表示/水深表示、気圧表示は、セットアップメニュー (□78) [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] の場合でも、表示されます。

セットアップメニュー

地域と日時

MENU ボタンを押す → ツメニューアイコン → 地域と日時 → OK ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	<ul style="list-style-type: none">項目を選ぶ: マルチセクターの◀▶を押します。日時を合わせる: ▲▼を押します。設定を完了する: [分] を選び、OK ボタンを押します。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン(地域)や夏時間(サマータイム)を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅(🏠)を設定してから、訪問先(📍)のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセクターの▲▼で [タイムゾーン] を選び、OK ボタンを押す



2 [🏠 自宅] または [➡ 訪問先] を選び、Ⓞ ボタンを押す

- 自宅か訪問先の日時に切り替わります。

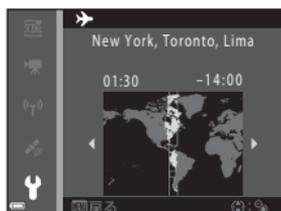


3 ▶ を押す



4 ◀▶ でタイムゾーンを選ぶ

- ▲ を押すと夏時間（サマータイム）になり、☀️が表示されます。解除するには、▼を押します。
- Ⓞ ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定] で合わせてください。



モニター設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → モニター設定 → ボタン

項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[する]
画面の明るさ	明るさを調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[3]

[モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	[情報ON]と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると[情報OFF]と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		

	撮影時	再生時
格子線+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は格子線を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>

日付写し込み

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 日付写し込み → ボタン

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。
日付の印字に対応していないプリンターでも
日付入りの画像をプリントできます。



項目	内容
 年・月・日	日付を写し込みます。
 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込みません。
 - シーンモードの [スポーツ]、[夜景ポートレート] ([手持ち撮影] 時)、[夜景] ([手持ち撮影] 時)、[逆光] ([HDR] 使用時)、[かんたんパノラマ]、[ペット] ([連写] 時)
 - 連写の設定 ([Q84]) が [単写] 以外
 - 動画
 - 動画撮影中に記録した静止画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

 日付を写し込んでいない画像に撮影日時を入れてプリントするには
画像をパソコンに取り込んで、ソフトウェア「ViewNX 2」([Q157]) を使うと、
日付を入れてプリントできます。

静止画手ブレ補正

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 静止画手ブレ補正 → ボタン

静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] にしてください。

項目	内容
 * する (ハイブリッド)	レンズシフト方式で光学的に補正します。以下の条件では、画像処理で電子的に補正を加えます。 <ul style="list-style-type: none">フラッシュ：発光しないシャッタースピード：1/30 秒 (広角側)、1/60 秒 (望遠側) よりも低速セルフタイマー：[OFF][連写] の設定：[単写]ISO 感度：ISO 200 以下 画像の記録時間は通常より長くなることがあります。
 する (初期設定)	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正をしません。

静止画手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後にモニターの画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- シャッタースピードが極端に遅いときは、[する (ハイブリッド)] に設定しても画像処理による補正はできません。

AF補助光

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → AF補助光 → ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約3.0 m、望遠側で約3.0 mです。 <ul style="list-style-type: none">AF エリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があります。
なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 電子ズーム → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームは使えません。

電子ズームについてのご注意

- 以下の撮影モードでは、電子ズームは使えません。
 - シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] ([HDR]使用時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]、[水中]
 - ベストフェイスモード
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません (□58)。

操作音

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 操作音 → ボタン

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。 • シーンモードの [ペット] では鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 • 連写時や動画撮影時、シーンモードの [ペット] では鳴りません。

水中フラッシュ

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 水中フラッシュ → ボタン

別売の水中スピードライトSB-N10 (□□183) を装着して、水中撮影するときには [する] に設定します。初期設定は [しない] です。

水中フラッシュについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□56)。

アクション操作の感度

MENUボタンを押す → メニューアイコン → アクション操作の感度 → ボタン

カメラを振って操作（アクション操作）（20）するときの感度を設定します。[高]では、小さな振りでも操作できます。[低]では、大きな振りで操作します。初期設定は[中]です。

アクション操作の感度についてのご注意

アクション操作の[クイック再生]または再生モードの1コマ表示中の画像選択操作の感度は固定です。

アクション画像送り

MENUボタンを押す → メニューアイコン → アクション画像送り → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	再生モードの1コマ表示中にカメラを振って画像を選べます。
しない	カメラを振っても画像は選べません。

アクション画像送りについてのご注意

[アクション画像送り]が[する]のときは、カメラの向きを回転させても、画像は自動的に回転しません。

アクション地図操作

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → アクション地図操作 → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	地図表示中にカメラを振って地図の拡大/縮小ができます (□20)。
しない	カメラを振っても、地図の拡大/縮小はできません。

アクション地図操作についてのご注意

 (アクション) ボタンを押しているときは、ズームレバーでのみ地図の拡大/縮小ができます (□2)。

オートパワーオフ

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → オートパワーオフ → ボタン

カメラが待機状態 (□13) になるまでの時間を設定します。
[30 秒]、[1 分] (初期設定)、[5 分]、[30 分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分 ([30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- [ペット自動シャッター] で撮影中：5分 ([30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- [笑顔自動シャッター] で撮影中：5分 ([30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- ACアダプター EH-62F接続中：30分
- HDMIケーブル接続中：30分

カード/メモリーの初期化（フォーマット）

MENU ボタンを押す → Țメニューアイコン → カード/メモリーの初期化 → OK ボタン

メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化（フォーマット）します。初期化すると、メモリーカード/内蔵メモリー内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。

メモリーカードを初期化するには

- メモリーカードをカメラに入れます。
- セットアップメニューの [カードの初期化] を選び OK ボタンを押します。

内蔵メモリーを初期化するには

- メモリーカードを取り出します。
- セットアップメニューの [メモリーの初期化] を選び OK ボタンを押します。

表示された画面で [初期化する] を選び OK ボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。
- Wi-Fi接続中は選択できません。

言語/Language

MENU ボタンを押す → Țメニューアイコン → 言語/Language → OK ボタン

画面に表示する言語を設定します。

パソコン接続充電

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → パソコン接続充電 → ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると (□□150)、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源をOFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約4時間10分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

充電ランプが緑色で速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- USBケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。
- パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

設定クリアー

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 設定クリアー → ボタン

【はい】を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- 【地域と日時】、【言語/Language】など、一部の設定はリセットされません。
- Wi-Fi接続中は選択できません。



ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード/内蔵メモリー内の画像をすべて削除 (□16) してから【設定クリアー】を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

認証マークの表示

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 認証マークの表示 → ボタン

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

バージョン情報

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → バージョン情報 → ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

- Wi-Fi接続中は選択できません。

位置情報機能を使う/地図を表示する

✦（位置情報設定）メニュー（□□78）で【位置情報設定】の【位置情報記録機能】を【する】にすると、測位衛星の電波の受信を開始します。

受信状態は撮影画面で確認できます。

- ☞または☞：4つ以上、または3つの衛星から受信して、位置情報を測位しています。
- ☞：電波を受信していますが、測位できていません。
- ☒：電波を受信していません。



撮影地点の位置情報を画像に記録する

- カメラが測位している状態で撮影すると、画像に位置情報（緯度・経度）を記録します。
- 位置情報設定メニュー【電子コンパス設定】の【コンパス表示】を【する】にすると、撮影したおおよその方角も記録します。

ログを記録する

- 測位した状態で位置情報設定メニュー【ログ取得】の【全ログ取得開始】を選ぶと、カメラを持って移動した場所の位置情報および高度・水深を一定間隔で記録します。
- 記録したログ（位置情報や高度・水深の移動記録）は、メモリーカードに保存後、位置情報設定メニューの【ログデータ表示】を選ぶと地図または高度・水深のグラフに表示できます。ログを保存するには、【ログ取得】でログ取得を終了し【ログ保存】を選びます。

地図を表示する

- 撮影画面で☞（地図）ボタンを押すと、カメラが測位している場合は、現在位置を地図上に表示します。
- 位置情報を記録した画像を再生して☞ボタンを押すと、撮影地点を地図上に表示します。

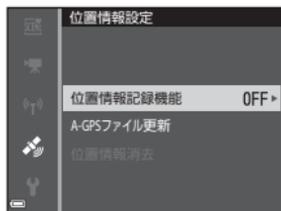
位置情報を画像に記録する

MENU ボタンを押す →  (位置情報設定) メニューアイコン → 位置情報設定 →  ボタン

カメラの「地域と日時」(□119) は、位置情報機能を使う前に、正しく設定してください。

1 「位置情報記録機能」を「する」に設定する

- 設定したらMENUボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を終了します。
- 電波を受信しやすくするため、空のひらけた屋外で操作してください。

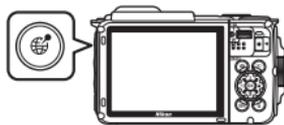


2 撮影画面で受信状態を確認する

-  または  : 4つ以上、または3つの衛星から受信して、位置情報を測位しています。画像に位置情報が記録されます。
-  : 衛星から受信していますが、測位できていません。画像に位置情報は記録されません。
-  : 衛星から受信ができず、測位できません。画像に位置情報は記録されません。
- 現在地を地図で確認するには、測位した状態で  ボタンを押します (□138)。



位置情報受信状態



3 測位した状態で撮影する

- 撮影した画像に位置情報が記録されます。
- 記録した位置情報は地図で確認できます (□136)。



✓ 位置情報機能についてのご注意

- 位置情報機能をお使いの前に、「<重要>位置情報機能（GPS/GLONASS、電子コンパス）についてのご注意」（□□xviii）をお読みください。
- はじめて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、電池を交換したときは、位置情報を測位するまで数分かかります。
- 最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます（□□110）。
- 測位衛星の位置は常に変化しています。
お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できなかつたりすることもあります。
位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。
測位アンテナ部（□□1）を空に向けてと受信しやすくなります。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかつたり、測位した位置が実際にいた場所と異なつたりすることがあります。
 - 建物の中や地下
 - 高層ビルの間
 - 高架の下
 - トンネルの中
 - 高圧電線などの近く
 - 密集した樹木の間
 - 水中
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなる場合があります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れしないでください。
金属製のものでおおうと測位できません。
- 測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。
位置情報を測位した時刻は画像に記録されますが、カメラでは表示できません。
- 連写した画像には、1コマ目の位置情報が記録されます。

✓ 位置情報記録、ログ取得時の電源と電池の消耗について

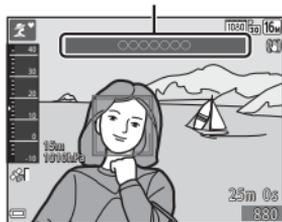
- [位置情報記録機能] を [する] にしていると、カメラの電源を OFF にした後も、位置情報記録機能が一定の間隔で約6時間作動します。また、ログ取得中（□□141）は、カメラの電源を OFF にした後も、位置情報記録機能やログ取得機能が作動します。
- [位置情報記録機能] が [する] 時やログ取得時は、電池を通常より消耗します。特に [全ログ取得開始] や [水深ログ取得開始] を選んでログを取得するときは、電池残量にご注意ください。

地名情報 (POI情報) について

ランドマーク名 (施設名) などの地名情報を POI 情報といいます。

- 位置情報設定メニューの [POI 設定] (📖113) の [POI 表示設定] を [する] にすると、撮影時には現在地に最も近い地名情報を表示します (測位している場合のみ)。
- [POI 記録] を [する] にすると、撮影時に画像に地名情報を記録できます (測位している場合のみ)。
- 地名情報を記録した画像の再生時は、[POI 表示設定] を [する] にすると、撮影時の地名情報を表示します。
- [POI 設定] の [POI 表示レベル設定] の設定したレベルによっては、地名情報が表示されない場合があります。また、意図したランドマーク名が登録されていないか、ランドマーク名が異なったりする場合があります。

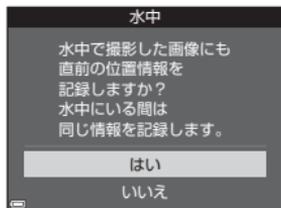
地名情報 (POI情報)



水中での位置情報記録について

測位しているときに、シーンモードを [水中] に設定する、または  (おまかせシーン) モードにして水中に入ると、右図のような画面が表示されます。

[はい] を選んで  ボタンを押すと、水中に入る前、最後に測位した位置情報を、水中で撮影した画像にも記録します。



位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時に  が表示されます (📖5)。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX 2 を使って位置情報を地図上で確認できます (📖157)。
- 画像ファイルに記録されている位置情報は、測位した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。
- 画像に記録された位置情報と POI 情報は、[位置情報設定] の [位置情報消去] を使って消去できます (📖110)。消去した情報は、元に戻せません。

撮影地点を地図に表示する（再生モード）

▶ ボタンを押す（再生モード） → 位置情報を記録した画像を選ぶ※
→ 撮影ボタン

※ 位置情報を記録した画像は、再生時に📍が表示されます（□5）。

- 撮影地点：位置情報を記録した画像の撮影地点を地図に表示します。📍 ボタンを押す前に選択した画像の撮影地点は黄色で表示します。

[コンパス表示] を [する] にして撮影した画像では（□116）、📍でおおよその方位を表示します。📍（画面の上を指した状態）のときは北向きです。

- サムネイル表示：地図内に撮影地点がある場合、画像をサムネイル表示します。
- 地図の表示中は以下の操作ができます。



地図の操作

操作	内容
マルチセレクター※1	地図の表示を移動します（8方向）。
ズームレバー※1	<ul style="list-style-type: none">• T (Q)：地図の表示を拡大します。• W (R)：地図の表示を縮小します。
📍 ボタン	再生画面に戻ります。
📄 ボタン※2	サムネイル表示の画像を選択します。「サムネイル画像選択時の操作」（□137）をご覧ください。

※1 アクション操作が使えます（□20）。

※2 表示中の地図内に撮影地点がない場合は無効です。

サムネイル画像選択時の操作

操作	内容	
マルチセクター	◀▶でサムネイル画像の選択を移動します。 • 選択中の画像の撮影地点が地図上で黄色に変わります。	
ズームレバー	• T (Q) : 選択中の画像を1コマ表示します。 ◀▶で前後の画像を切り換えられます。 • W (R) : 地図の表示に戻ります。	
再生ボタン	再生画面に戻ります。	
Ⓜ ボタン	メニューが表示され以下の項目を選べます。	
	地図をスクロールする*	地図の操作画面に戻り、選択中の画像の撮影地点を中心に表示します。
	高度/水深ログ*	高度ログ/水深ログのグラフを表示します (□145)。グラフの表示中にⓂ ボタンを押すと、地図の操作画面に戻ります。
	地点登録する	選択中の画像の撮影地点を登録します。
	登録した地点へ直接移動します。 詳しくは「地点登録した地図の操作」(□139)をご覧ください。	

※ 選択中の画像の撮影時に、高度/水深ログを取得中だった場合は「高度/水深ログ」のみ選べます。取得中でなかった場合は「地図をスクロールする」のみ選べます。

✓ 地図表示についてのご注意

- 本体充電ACアダプターを接続して充電中は、地図を表示できません。
- 地図表示は回転できません。画面の上が北を指すノースアップ表示のみです。
- 地図表示の縮尺は、表示する国によって異なります。
- 地図の表示中に MENU ボタンを押したときは、セットアップメニュー (□119) の「地域と日時」、[カードの初期化] / [メモリーの初期化]、[言語/Language]、[設定クリア] は選べません。

現在地を地図に表示する（撮影モード）

測位した状態で撮影画面にする※1 → ㊄ ボタン※2

- ※1 詳しくは「位置情報を画像に記録する」(□□133)をご覧ください。
 ※2 測位していない状態で㊄ ボタンを押した場合は世界地図を表示します。

- 現在地を地図の中心に表示します。地点登録して、登録した地点の地図を表示できません。
- カメラのレンズを下に向けるとコンパス（方位計）を表示します。
- 電源をONにしてから2回目以降は、前回表示した地図を表示します。
- 地図の表示中は以下の操作ができます。



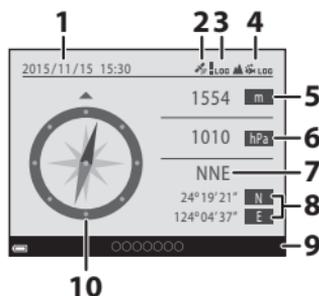
操作	内容	
マルチセレクター※1	地図の表示を移動します（8方向）。	
ズームレバー※1	<ul style="list-style-type: none"> • T (Q)：地図の表示を拡大します。 • W (R)：地図の表示を縮小します。 	
㊄ ボタン	方位などを表示する画面になります（□□139）。もう1度押すと撮影画面に戻ります。	
㊄ ボタン	メニューが表示され以下の項目を選べます。	
	現在地へ戻る※2	現在地を地図の中心に表示します。
	地点登録する	マルチセレクターで場所を選び、㊄ ボタンを押すと、選んだ地点を登録します（最大30件）。 <ul style="list-style-type: none"> • 確認画面で「いいえ」を選ぶと登録画面を終了します。
	登録地点に移動する	登録した地点へ直接移動します。 <ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは「地点登録した地図の操作」(□□139)をご覧ください。

- ※1 アクション操作が使えます（□□20）。
 ※2 測位していないときは選べません。

方位と位置情報の表示について

撮影モードで地図表示中、または電源OFFの状態でも☰ボタンを長押しすると、方位や位置情報などが表示されます。

- 1 日時
- 2 位置情報受信状態
- 3 ログ取得表示（位置情報）
- 4 ログ取得表示（高度/水深）
- 5 高度
- 6 気圧
- 7 方位
- 8 緯度、経度
- 9 地名情報（POI情報）※
- 10 コンパス表示



※ [POI設定] の [POI表示レベル設定] の設定したレベルによっては、地名情報が「----」と表示される場合があります。

地点登録した地図の操作

地図を表示中（☰136、138）、またはサムネイル選択中（☰144）に☑ボタンを押し、「登録地点に移動する」を選ぶと、画面の中央から一番近い登録地点に地図がスクロールします。

- マルチセレクターの▲▼◀▶で登録地点を移動します。
- ☑ボタンを押すと地点登録を解除できます。
 - [選択地点]：選択中の地点の登録を解除します。
 - [複数登録地点]：複数の地点登録を一括解除します。マルチセレクターで登録地点を移動し☑ボタンを押して選択します。もう一度☑ボタンを押すと選択を解除します。選択が終わったら☑ボタンを押します。
 - [全登録地点]：すべての地点登録を一括解除します。
- ☑ボタンを押すと操作画面を終了します。



高度計/水深計を使う

現在地の高度や水深、気圧を撮影時に画面で確認したり、撮影した画像に記録したりできます。

- 画像に記録した高度/水深および気圧は、再生メニューの[情報合成画像] (☞68) で画像に写し込みます。
- 高度/水深ログの取得機能を使うと、撮影した画像をログと連動させて表示できます (☞145)。

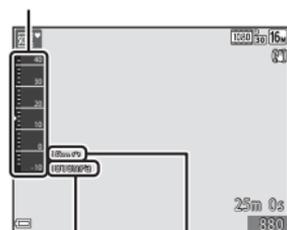
✓ 高度計/水深計についてのご注意

- あらかじめ位置情報設定メニュー [高度/水深設定] (☞118) の [高度/水深補正] で、高度/水深を補正してください。水中で使用する前には、必ず水上で0 mに補正をしてください。
- このカメラの高度計 / 水深計を登山やダイビングなどの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 高度は気圧計を使って算出しているため、気象条件によっては正しく表示されないことがあります。
- 水深計の目盛で25 mを超えると、表示はオレンジ色に変わります。水深計の目盛で30 mを超えると、表示は赤色に変わります。

📎 高度/水深の表示について

- 位置情報設定メニュー [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] を [する] (初期設定) にすると、高度計/水深計を表示できます。
- 水深計、水深表示は、シーンモードを [水中] に設定したとき、または📷 (おまかせシーン) モードにして水中に入ったときに表示されます。[水中] のときにカメラが水中に無い場合は、水深計の表示が0 mに固定されます。
- 高度の表示範囲は-300 m ~ +4500 m、水深の表示範囲は0 m ~ 35 mです。
- 高度/水深を補正すると、高度表示/水深表示の横に🔧が表示されます。

高度計または水深計



気圧表示

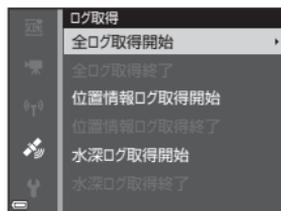
高度表示または水深表示

移動情報のログを記録する

MENU ボタンを押す → (位置情報設定) メニューアイコン → ログ取得 → OK ボタン

1 マルチセクターの▲▼で取得開始するログを選び、OK ボタンを押す

- [全ログ取得開始]：位置情報、高度情報、水深情報のログを取得します。
- [位置情報ログ取得開始]：位置情報のログを取得します。
- [水深ログ取得開始]：水深情報のログを取得します。



2 ログ取得する間隔を選び、OK を押す

- 取得するログによって、設定できるログ取得間隔は異なります。
- [水深ログ取得開始] のときは、ログの取得が始まります (取得時間は1時間固定)。



3 ログ取得する時間を選び、OK ボタンを押す

- ログの取得が始まります。MENU ボタンを押してメニュー画面を終了してください。
- ログ取得中は、撮影画面に  が表示されます (□□3)。
- 設定した時間が経過するとログ取得が自動的に終了し、ログデータが一時的にカメラに記録されます。ログ取得が終了したらメモリーカードに保存してください (□□143)。
- メモリーカードに保存したログは地図やグラフに表示できます (□□144、145)。



✓ ログ取得についてのご注意

- 日時が設定されていない場合は、ログ取得はできません。
- 全ログ取得時、または水深ログ取得時は、取得開始前に位置情報設定メニュー [高度/水深設定] (□118) の [高度/水深補正] で高度または水深を補正してください。
- ログ取得時間内に電源が切れないよう、充分に残量のある電池をお使いください。電池残量がなくなると、ログ取得が終了します。
高度ログ、または水深ログ取得中は、電池を特に早く消耗しますので、電池の残量にご注意ください。
- ログ取得を開始してもカメラが測位していない期間はログ取得できません。
- カメラの電源をOFFにしている場合、ログ取得時間が残っている場合は、設定した時間が過ぎるまでログ取得します。
- ログ取得時間内でも、以下の操作をすると、ログ取得が終了します。
 - 電池を取り外す
 - [位置情報設定] → [位置情報記録機能] を [しない] にする ([水深ログ取得開始] で取得開始した水深ログを除く)
 - セットアップメニューの [設定クリア] をする
 - 内蔵時計の設定 (地域や日時) を変更する
 - 位置情報設定メニューで [ログ取得] → ログ取得終了を選ぶ (□143)
- 以下の操作中は、ログ取得が一時中断されます。
 - 連写撮影中
 - 動画撮影中
 - USBケーブルまたはHDMIケーブル接続中
操作を終了するとログ取得を再開します。
- ログデータは一時的にカメラに記録されます。カメラにログデータが残っていると、新しくログ取得ができません。ログ取得後は、メモリーカードにログデータを保存してください (□143)。

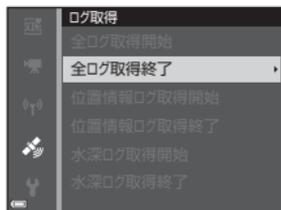
ログ取得を終了しメモリーカードに保存する

MENU ボタンを押す → (位置情報設定) メニューアイコン → ログ取得 → OK ボタン

取得したログを地図やグラフで表示するには、メモリーカードに保存する必要があります。

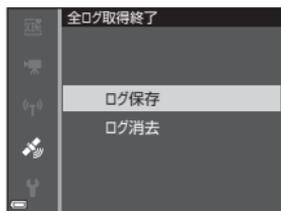
1 ログの取得が終わったら、取得終了するログを選び、OK ボタンを押す

- 設定した取得時間が経過する前でも、取得終了するログを選んで終了できます。



2 [ログ保存] を選び、OK ボタンを押す

- メモリーカードにログデータを保存します。



✓ ログデータについてのご注意

- ログ取得開始から終了までの間に一度も測位できなかった場合は、ログデータは保存できません。
- メモリーカードに保存したログデータについて → 181

✂ ログデータを消去するには

- カメラに一時的に記録されたログデータを消去するには、手順2で [ログ消去] を選びます。
- メモリーカードに保存されたログデータを削除するには、[ログデータ表示] で [位置情報ログ] (144) または [高度/水深ログ] (145) を選び (OK) ボタンを押します。

位置情報ログを地図に表示する

MENU ボタンを押す → 位置情報設定メニューアイコン → ログデータ表示 → OK ボタン → 位置情報ログ → OK ボタン

- 表示したいログ（日付）を選んで OK ボタンを押すと、記録したログの軌跡を地図に表示します。
- ログの一覧画面で 削除 ボタンを押すと、選択中のログまたは保存されたすべての位置情報ログを削除できます。
- 地図の表示中は以下の操作ができます。



位置情報ログ

操作	内容	
マルチセクター ※	地図の表示を移動します（8方向）。	
ズームレバー ※	<ul style="list-style-type: none"> T (Q) : 地図の表示を拡大します。 W (R) : 地図の表示を縮小します。 	
削除 ボタン	表示中のログデータを削除します。	
OK ボタン		メニューが表示され以下の項目を選べます。
	位置情報ログ	ログの一覧画面に戻ります。
	地点登録する	マルチセクターで場所を選び、OK ボタンを押すと、選んだ地点を登録します（最大30件）。 <ul style="list-style-type: none"> 確認画面で [いいえ] を選ぶと登録画面を終了します。
	登録地点に移動する	登録した地点へ直接移動します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは「地点登録した地図の操作」(P139) をご覧ください。

※ アクション操作が使えます (P20)。

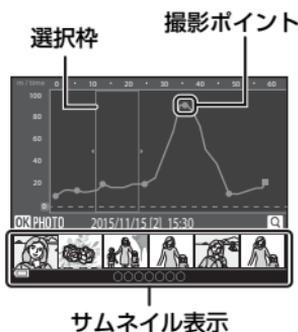
位置情報ログデータについて

NMEA フォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。

高度/水深ログをグラフで表示する

MENU ボタンを押す → 位置情報設定メニューアイコン → ログデータ表示 → OK ボタン → 高度/水深ログ → OK ボタン

- 表示したいログ（日付）を選んでOK ボタンを押すと、記録した高度情報または水深情報をグラフで表示します。
 - グラフの横軸は取得したログの合計時間、縦軸は取得したログの高低差を表示します。
 - ログ取得中に撮影した画像がある場合は、画像をサムネイル表示し撮影ポイントをグラフ上に表示します。
- ログの一覧画面で 選択 ボタンを押すと、選択中のログまたは保存されたすべての高度/水深ログを削除できます。
- グラフの表示中は以下の操作ができます。



操作	内容
MENU ボタン	ログの一覧画面に戻ります。
マルチセクター	<ul style="list-style-type: none"> ◀▶で黄色い選択枠を移動します。 黄色い選択枠は、ログの取得数の合計が 30 個を超える場合に表示されます。
ズームレバー	<p>T (Q) 側に動かすと、選択枠で囲まれた部分を拡大表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◀▶で表示位置を移動できます。 W (☒) で全体表示に戻ります。
OK ボタン	サムネイル表示の画像が選択され、以下の操作ができます。
	<p>マルチセクター</p> <ul style="list-style-type: none"> ◀▶でサムネイル画像の選択を移動します。 選択中の画像の撮影ポイントがグラフ上で黄色に変わります。
	<p>ズームレバー</p> <ul style="list-style-type: none"> T (Q) : 選択中の画像を 1 コマ表示します。 ◀▶で前後の画像を切り換えられます。 W (☒) : グラフの表示に戻ります。
	OK ボタン

Wi-Fi（無線LAN）を使う

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

以下の2つの方法で静止画が撮れます。

- カメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。
- リモート操作により、スマートデバイスでカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。

写真を見る

カメラのメモリーカードに保存した画像を、スマートデバイスに表示して取り込めます。カメラであらかじめ指定した画像をスマートデバイスに取り込むこともできます。

ご注意

ご購入時はパスワードなどのセキュリティは設定されていません。お客様の判断と責任で、必要なセキュリティをWi-Fi設定メニュー（□78）の「設定」で設定してからお使いください。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

- 1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する
 - 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- 2 説明や情報を確認し、インストールする

Wireless Mobile Utilityの説明書について

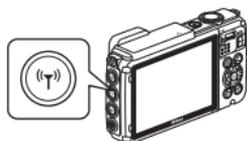
下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>
- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラと接続するには、カメラの  (Wi-Fi) ボタンを押してから、スマートデバイスのWi-Fi設定をONにし、ネゴシエーション中に「Wireless Mobile Utility」を起動します。

カメラとスマートデバイスを接続する

1 カメラの「」 (Wi-Fi) ボタンを押す



- 右の画面が表示されます。
- スマートデバイスからの接続通信が3分以内にないと、[アクセスありませんでした。]を表示して、Wi-Fi設定画面に戻ります。
- Wi-Fi 設定メニューの [スマートデバイスと接続] を選んでも、右の画面を表示できます。



2 スマートデバイスのWi-Fi設定をONにする

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- スマートデバイスに利用可能なネットワーク名 (SSID) が表示されたら、カメラに表示されているSSIDを選びます。
- Wi-Fi設定メニューで [認証/暗号] を [WPA2-PSK-AES] に設定した場合は、パスワードの入力が求められます。カメラに表示されているパスワードを入力してください。

3 ネゴシエーション中に、スマートデバイスの「Wireless Mobile Utility」を起動する

- 「写真を撮る」または「写真を見る」を選ぶ画面が表示されます。
- 「カメラと接続できません。」が表示されたときは、手順1からやり直してください。
- 「スマートデバイスにソフトウェアをインストールする」(146)

NFC対応のスマートデバイスをカメラにタッチして接続する

NFC (Near Field Communication : 近距離無線通信) 対応のAndroid OSのスマートデバイスをお使いの場合は、カメラの  (Nマーク) にスマートデバイスのNFCアンテナ部をタッチすると、Wi-Fi接続とWireless Mobile Utilityの起動ができます。



Wi-Fi接続を解除するには

以下のいずれかの操作をします。

- カメラの電源をOFFにする
- カメラのWi-Fi設定メニューで **[Wi-Fi OFF]** を設定する（リモート操作時を除く）
- スマートデバイスのWi-Fi設定をOFFにする

Wi-Fi接続についてのご注意

- 以下の場合、Wi-Fi接続操作が無効になります。
 - カメラをテレビ、パソコンまたはプリンターに接続しているとき
 - 動画撮影中
 - 画像や動画の記録などの処理実行中
 - スマートデバイスと接続しているとき
- 電波の出力が禁止されている場所では、**[Wi-Fi OFF]** を設定してください。
- Wi-Fi接続中は、**[オートパワーオフ]** は無効になります。
- Wi-Fi接続中は、電池を通常より消耗します。
- 以下の場合、Wi-Fi接続が切断されます。
 - 電池残量が少なくなったとき
 - ショートムービーショーモードで動画撮影を開始したとき

セキュリティー設定について

Wi-Fi機能を搭載したカメラは、セキュリティー（暗号化やパスワード）を設定しないと、第三者に不正侵入される可能性があります。

お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーを設定してからお使いください。

Wi-Fi設定メニュー（□108）の **[設定]** で設定できます。

スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する

スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選べます。動画は選べません。

1 送信する画像を選ぶ

以下のメニューでスマートデバイスに取り込む画像を送信指定できます。

- 再生メニューの [Wi-Fi送信画像の指定] (☞94)
- Wi-Fi設定メニューの [カメラ内画像の送信] (☞108)

[カメラ内画像の送信] の場合は、画像を選択した後、カメラのSSID とパスワードが画面に表示されます。

2 カメラとスマートデバイスを接続する (☞147)

Wireless Mobile Utilityの「写真を見る」をタッチすると、確認画面が表示され、指定した画像をスマートデバイスに取り込みます。

再生中の画像を送信指定に追加する

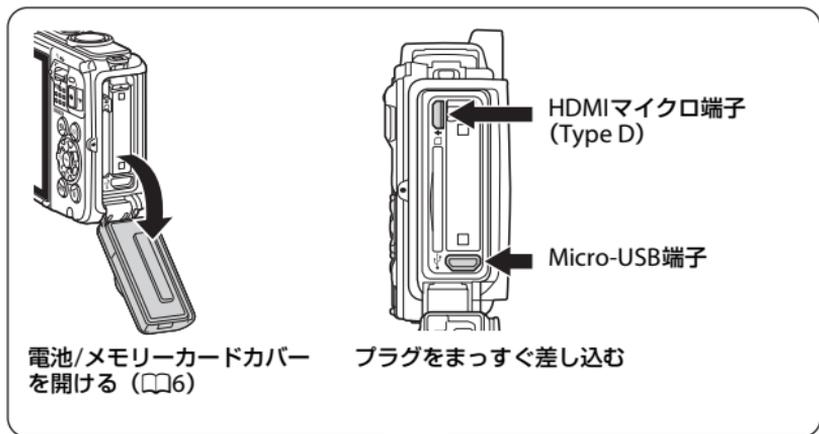
カメラの再生モード時に、 (Wi-Fi) ボタンを押すまたはNFCによりWi-Fi接続すると、画面に表示されている画像を送信指定に追加します。

- 1コマ表示の場合は、表示中の1コマを追加します。代表画像で表示中の連写グループは、グループ内の画像をすべて追加します。
- サムネイル表示の場合は、カーソルで選択中の1コマを追加します。
- カレンダー表示の場合は、選択中の撮影日の画像すべてを追加します。

Wi-Fi設定メニューの [スマートデバイスと接続] から接続を行ったときは無効です。

テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビやプリンター、パソコンに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続する前に、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてください。電池/メモリーカードカバーを開け、水滴が残っていないことを確認してください。水滴が残っている場合は、柔らかい乾いた布でふきとってから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-62Fを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する



パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。

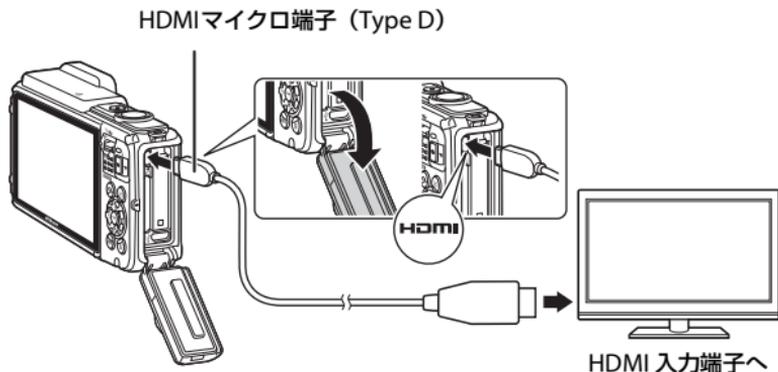
接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください(📖157)。
- パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐ引き抜いてください。

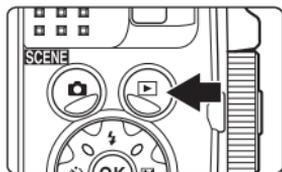


2 テレビの入力を外部入力に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの▶（再生）ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラのモニターは点灯しません。

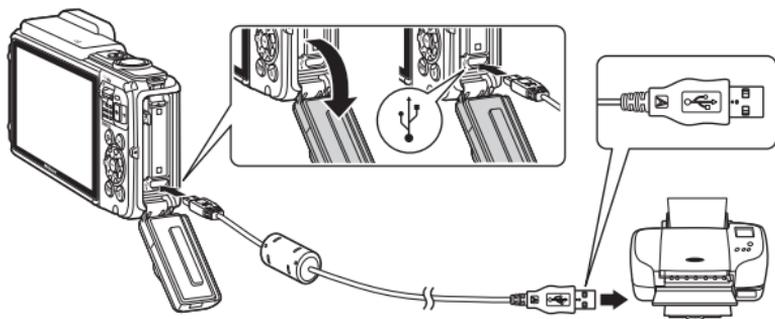


プリンターとの接続(ダイレクトプリント)

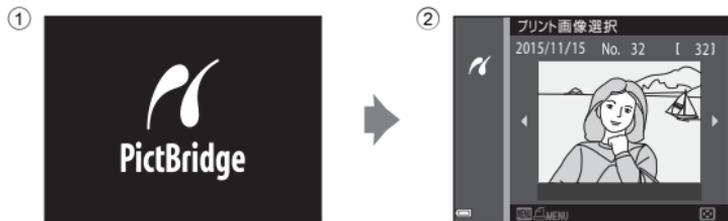
PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。

カメラとプリンターを接続する

- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する
 - プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



- 3 カメラの電源が自動的にONになる
 - カメラのモニターに[PictBridge]画面(①)が表示された後、[プリント画像選択]画面(②)が表示されます。



✔ PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[パソコン接続充電] (□130) を [オート] にするとプリントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[パソコン接続充電] を [しない] に設定してから、再接続してください。

1コマずつプリントする

1 マルチセクターの◀▶でプリントする画像を選び、OKボタンを押す

- ズームレバーを **W** (📷) 側に動かすと一覧表示に、**T** (📄) 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



2 ▲▼で [プリント枚数設定] を選び、OKボタンを押す

- ▲▼でプリント枚数 (9枚まで) を設定し、OKボタンを押します。



3 [用紙設定] を選び、OKボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OKボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



4 [プリント実行] を選び、OKボタンを押す

- プリントが始まります。



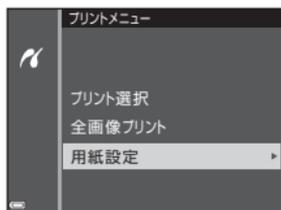
複数の画像をプリントする

- 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU (メニュー) ボタンを押す

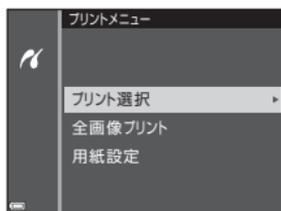


- 2 マルチセレクトターの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OK ボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。
- プrintメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、OK ボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

- マルチセレクターの◀▶で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、👤とプリント枚数が表示されます。選択をキャンセルするには、枚数を0にします。
- ズームレバーをT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

メモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、OKボタンを押すと画像のプリントが始まります。

ViewNX 2を使う（パソコンに画像を取り込む）

ViewNX 2をインストールする

ViewNX 2は、画像や動画のパソコンへの取り込み、閲覧、編集、共有を可能とする無償ソフトウェアです。下記ウェブサイトからインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

<http://nikonimglib.com/nvnx/>

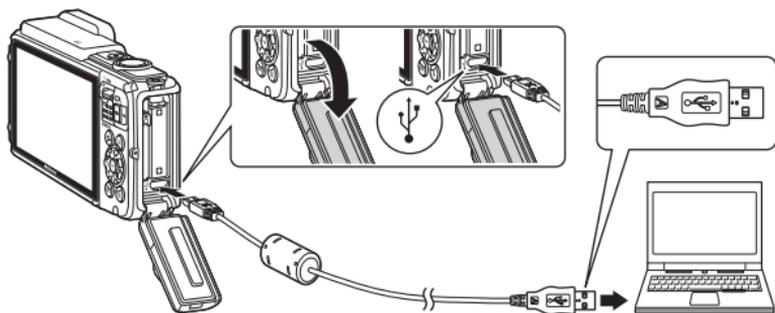
最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーにメモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する。
カメラの電源が自動的にONになります。
内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにメモリーカードを入れずにパソコンに接続します。



起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
右の画面が表示されたときは、次の手順で Nikon Transfer 2 を選びます。



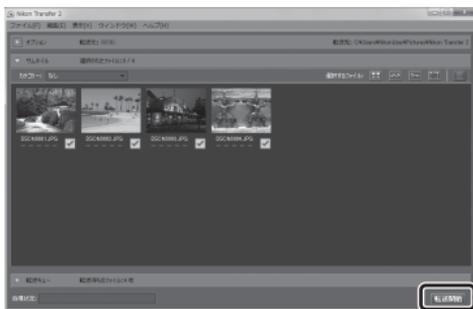
- 1 [画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用] を選んで、[OK] をクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする

メモリーカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

✓ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 Nikon Transfer 2が起動したら、[転送開始]をクリックする



- 画像の取り込みが始まり、完了するとViewNX 2が起動して取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。

3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

付録

取り扱い上のご注意.....	160
カメラについて.....	160
電池について	161
本体充電 AC アダプターについて	162
メモリーカードについて	163
お手入れ方法	164
クリーニングについて.....	164
保管について	164
警告メッセージ	165
故障かな?と思ったら.....	170
記録データのファイル名.....	180
別売アクセサリ.....	182
地図・地名情報データ使用許諾契約書.....	187
主な仕様.....	192
推奨メモリーカード.....	197
索引.....	199
ニコンプラザのご案内.....	203
修理サービスのご案内.....	204

取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□□v~xi)や「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(□□xii)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELモニターの特性上、同じ表示を長時間続けたり、くり返したりすると焼き付きが発生し、部分的に明るさが落ちたり、色ムラが現れたりすることがあります。また、長期間使い続けると焼き付きが戻らなくなることがあります。モニターの焼き付きは、記録される画像には影響はありません。焼き付きを抑えるには、モニターの明るさを必要以上に上げたままにしたり、同じ表示を極端に長く続けたりしないようおすすめします。
- 屋外ではモニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。

電池について

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が -10°C ～ $+40^{\circ}\text{C}$ の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が 5°C ～ 35°C の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が 0°C 以下、 45°C 以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池をじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



Li-ion 00

充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- 本体充電ACアダプターEH-71P/EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-71P/EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-71P/EH-73Pは、家庭用電源のAC 100 – 240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使いません。推奨メモリーカード→□□197
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- **メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。**初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、「いいえ」を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、「はい」を選んでⓀボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
 - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。
- 「防水/防じん性能について」(□xii)、「水中で使用後のクリーニング」(□xv) もお読みください

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「保管について」(□162) をお守りください。

警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
電池が高温です。 電源をOFFにします。 カメラが高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	—
カードがロックされています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	—
このカードは使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 <ul style="list-style-type: none"> 動作確認済みのメモリーカードを使用してください。 メモリーカードの端子部分が汚れていないか確認してください。 メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。 	6、197
カードに異常があります。		
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとメモリーカード内のデータはすべて削除されるため、メモリーカード内に必要なデータが残っているときは、 [いいえ] を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。 [はい] を選んで OK ボタンを押すと、メモリーカードを初期化できます。	163
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換してください。	6、16
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	129
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	129
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	16

表示	考えられる原因や対処法	📖
前回撮影したデータがあります。動画を保存しますか？	タイムラプス動画の撮影中に電池が切れました。 <ul style="list-style-type: none"> • [はい] を選ぶと、撮影済みの画像でタイムラプス動画を作成します。 • [いいえ] を選ぶと、未完成のデータを削除します。 	—
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	64、175
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してください。	72、197
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 <ul style="list-style-type: none"> • 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 • 内蔵メモリー内の画像をメモリーカードにコピーするときは、MENU ボタンを押して再生メニューの [画像コピー] を選んでください。 	7 97
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。	—
このデータは再生できません。	このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	
表示できる画像がありません。	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	95
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	96
衛星からの情報取得に失敗しました。	時計合わせが正しく行われませんでした。 お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	—
カード内に A-GPS ファイルが見つかりません。	メモリーカードに更新可能な A-GPS ファイルがありません。 以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードが入っているか • メモリーカード内に A-GPS ファイルが入っているか • メモリーカード内の A-GPS ファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか • 有効期限が切れていないか 	—

表示	考えられる原因や対処法	📖
更新に失敗しました。	A-GPS ファイルの更新ができませんでした。 A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ウェブサイトからダウンロードし直してください。	110
現在地が確認できません。	距離計算時に現在地の測位ができませんでした。 お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	—
カードに保存できません。	メモリーカードが挿入されていません。 メモリーカードを挿入してください。	6
	ログを取得できていません。	143
	1日に記録できるログデータの件数を超えています。 • 位置情報ログ：1日に36件まで • 高度ログ、水深ログ：それぞれ1日に34件まで	181
	1枚のメモリーカードに保存できるログデータの件数を超えています。 • 位置情報ログ：最大で100件まで • 高度ログ、水深ログ：合わせて最大で100件まで 新しいメモリーカードに交換するか、不要なログデータをメモリーカードから削除してください。	143、181
電子コンパスの補正に失敗しました。	電子コンパスの補正が正しくできませんでした。 屋外で、カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。	116

表示	考えられる原因や対処法	📖
アクセスありませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信できません。無線接続の操作をやり直してください。 <ul style="list-style-type: none"> • (Wi-Fi) ボタンを押す • NFC対応のスマートデバイスをカメラにタッチする • Wi-Fi 設定メニューの [スマートデバイスと接続] を選ぶ 	108、147
接続できませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信中、接続に失敗しました。Wi-Fi 設定メニュー [設定] で [チャンネル] を別の番号に変更し、無線接続の操作をやり直してください。	108、147
Wi-Fiの接続を切断了ました。	以下の場合、Wi-Fi接続が切断されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 電波の状態が悪い • 電池残量が少ない • ケーブルやメモリーカードを抜き挿しした 十分に残量のある電池を使い、テレビ、パソコン、プリンターは取り外して、無線接続をやり直してください。	108、147
レンズの動作不良です。電源OFF後、再度実行してください。	エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	170
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	153
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	170

表示	考えられる原因や対処法	📖
プリンターエラー： プリンターを確認してください。	エラーの原因を取り除いた後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： 用紙を確認してください。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、[継続]を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル]を選びⓀボタンを押して、プリントを中止してください。	-

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。 	—
電源をONにできない	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量がありません。 電池を入れてから電源スイッチが有効になるまでに数秒間かかります。数秒間経ってから、電源スイッチを押してください。 	6、8、161 —
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	13 161 —
モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていません。 オートパワーオフ機能が働きました。 フラッシュランプの点滅中は、フラッシュの充電中です。充電完了までお待ちください。 カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。 カメラとスマートデバイスをWi-Fi接続して、カメラをリモート操作中です。 	10 13 — —
カメラの温度が高くなる	<p>動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。</p>	—

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ内の電池を充電できない	<ul style="list-style-type: none"> • プラグの接続状態を確認してください。 • パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - セットアップメニュー [パソコン接続 充電] が [しない] になっています。 - カメラの電源を OFF にすると、電池の充電は中止されます。 - カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダプターで充電してください。 - パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されることがあります。 - パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	8 78、130 — 10、11 — —
モニターがよく見えな い	<ul style="list-style-type: none"> • モニターの明るさを調節してください。 • モニターが汚れています。 	121 164
画面で🔋が点滅する 撮影日時が正しく表示 されない	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で🔋が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2015/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	4、119
撮影情報や画像情報が 表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	121
[日付写し込み] が選べ ない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	119
[日付写し込み] を有効 にしたのに、日付が写 し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> • 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 動画には写し込みできません。 	123

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	10、11
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
カメラから音がする	[AFモード] の [常時AF] 時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	18、91、105

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	150
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、 ボタン、シャッターボタン、または  ボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 フラッシュランプの点滅中は、フラッシュの充電中です。 電池残量がありません。 	1、15 78 44 6、8、161
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。おまかせシーンモード、シーンモードの [クローズアップ]、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 電源を入れ直してください。 	18、19、21、25、47 54 125 —
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 ISO 感度を上げて撮影してください。 静止画を撮影するときは [静止画手ブレ補正] を、動画を撮影するときは [動画手ブレ補正] を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	44 87 106、124 46

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを④（発光禁止）にしてください。	44
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが④（発光禁止）になっています。 フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	44 49 56
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズームを使えません。 	125 58、125
[画像モード] が選べない	[画像モード] が制限される他の機能が設定されています。	56
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。 [あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	126
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー [AF補助光] が [なし] になっています。 [オート] に設定していても、AFエリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があります。	125
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	164
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	25、43、82
画像がざらつく	<p>被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 低いISO感度にしてください。 	44 87
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが④（発光禁止）になっています。 フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 ISO感度を上げてください。 逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] にするか、フラッシュモードを⑤（強制発光）にしてください。 	44 12 193 48 87 26、44

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	48
赤目以外の部分が補正された	[夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを📷 (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	44、49
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [メイクアップ効果] の [美肌] をお試しください。 	52 67
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを📷 (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき • 以下のシーンモードで撮影したとき <ul style="list-style-type: none"> - [夜景ポートレート] の [手持ち撮影] - [夜景] の [手持ち撮影] - [逆光] の [HDR] が [ON] - [かんたんパノラマ] • 美肌機能で撮影したとき • 連写で撮影したとき 	— 45 24 25 26 30 52 84
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は拡大表示できません。 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 	—
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 メモリーカード / 内蔵メモリーに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	32、64 — — —
画像を回転できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。 [情報合成画像] で編集した画像は、回転できません。 	— 68
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 メモリーカードに画像が記録されていません。 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 	— — 7

こんなときは	考えられる原因や対処法	
カメラをパソコンに接続しても、 Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer 2が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2については、ViewNX 2のヘルプをご覧ください。 	— 130、150 150、157 — —
カメラをプリンターに接続しても、 PictBridge 起動画面が表示されない	PictBridge 対応プリンターの種類によっては、セットアップメニュー [パソコン接続充電] を [オート] に設定していると、 PictBridge 起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。 [パソコン接続充電] を [しない] にしてプリンターに接続し直してください。	78、130
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードに画像が記録されていません。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするには、メモリーカードを取り出してください。 	— 7
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	—

位置情報機能関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
測位できない、測位に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 撮影する環境によって、測位できないことがあります。位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。 はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したときは、位置情報を測位するまで数分かかります。 	134
撮影した画像に位置情報が記録されない	撮影時の画面に📷や📷が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前に位置情報受信状態を確認してください。	132
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。	134
記録された地名情報が意図したものと違う、または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていないか、または、ランドマーク名が異なる場合があります。	-
A-GPSファイルが更新できない	<ul style="list-style-type: none"> 以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - メモリーカードが入っているか - メモリーカード内に A-GPS ファイルが入っているか - メモリーカード内のA-GPSファイルがカメラ内のA-GPSファイルより新しいか - 有効期限が切れていないか A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。ウェブサイトからダウンロードし直してください。 	110
地図が表示できない	本体充電ACアダプターを接続して充電中は、📍(地図) ボタンを押しても地図は表示できません。	-

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
高度計/水深計を非表示にできない	位置情報設定メニュー [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] が [する] 時は、セットアップメニュー [モニター表示設定] の設定に関わらず、高度計/水深計が表示されません。 高度計/水深計を非表示にするには、[高度計/水深計表示] を [しない] にしてください。	118
撮影画面で、高度表示/水深表示と気圧表示が表示されたままになっている	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] を [情報OFF] に設定してください。	121
[高度計/水深計表示] が [する] 時でも、高度計/水深計が表示されない	[高度計/水深計表示] が [する] 時でも、以下の場合は高度計/水深計は表示されません。 <ul style="list-style-type: none"> • シャッターボタンを半押ししているとき • シーンモード [かんたんパノラマ] で撮影中 • 動画撮影中 • [AF エリア選択] の [ターゲット追尾] で被写体が登録されているとき • メッセージが表示されているとき 	— 30 71 88 —
水深が0 mと表示される	シーンモードが [水中] 時に、カメラが水中にないときは水深は0 mと表示されます。	27
位置情報設定メニュー [高度/水深補正] の [位置情報で補正] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> • 位置情報設定メニューの [位置情報記録機能] が [しない] になっています。 • 4つ以上の衛星から受信して測位できていないと、選べません。 • カメラが水中にあります。水中では選べません。 	110 132 —
位置情報設定メニューの [ログ取得] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください。 • 位置情報設定メニューの [位置情報記録機能] が [しない] になっています。 	119 110

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
[全ログ取得開始]や[位置情報ログ取得開始]が選べない	ログ取得中です。新しくログを取得するときは、[全ログ取得終了]または[位置情報ログ取得終了]を選び、取得中のログを終了してください。	114、143
ログデータを保存できない	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードが入っているか確認してください。 • 記録できるログデータの数は、位置情報ログが1日に36件まで、高度ログ、水深ログがそれぞれ1日に34件までです。 • 1枚のメモリーカードに保存できるログデータは、位置情報ログが最大100件まで、高度/水深ログが合わせて最大100件までの、合計200件までです。不要なログデータをメモリーカードから削除するか、新しいメモリーカードに交換してください。 	6、143、181
位置情報設定メニューの[衛星による日時合わせ]が選べない	位置情報設定メニューの[位置情報記録機能]が[しない]になっています。	110

記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: **DSCN0001.JPG**

① ② ③

① 識別子	カメラの画面には表示されません。 <ul style="list-style-type: none">• DSCN：編集していない静止画、動画• SSCN：スモールピクチャー画像• RSCN：トリミング画像• FSCN：トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、動画編集で作成した動画
② ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。 <ul style="list-style-type: none">• .JPG：静止画• .MOV：動画

メモリーカードに保存したログデータについて

ログデータはメモリーカードの「NCFL」フォルダーに保存されます。

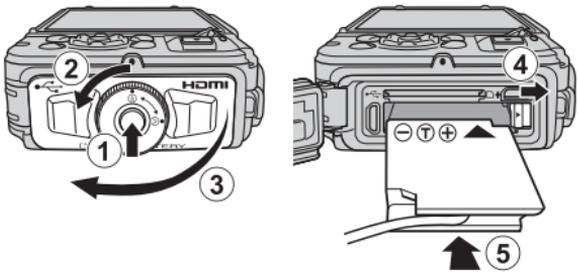
ファイル名: N151115 0.log

① ② ③

①日付	ログ取得開始した日付（西暦の下二桁と月日：YYMMDD）が付けられます。	
②識別番号	同じ日付のログデータを取得順で管理するために、0から順に付けられます。 <ul style="list-style-type: none">• 位置情報ログ：0～9、A～Zの合計36文字• 高度/水深ログ：0～9、A～H、J～N、P～Zの合計34文字	
③拡張子	ファイルの種類を示します。	
	.log	位置情報ログ
	.lga	高度ログ
	.lgb	水深ログ

- 位置情報ログ：1日に36ファイル、1枚のメモリーカードに100ファイルまで記録できます。
- 高度ログ/水深ログ：1日に各34ファイル、1枚のメモリーカードに計100ファイルまで記録できます。

別売アクセサリ

充電器	バッテリーチャージャー MH-65P ^{*1} 残量の少ない状態からの充電時間は、約2時間30分です。
ACアダプター	ACアダプター EH-62F ^{*2} <取り付け方>  <p>ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてから電池室に入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none">ACアダプターの使用中は電池/メモリーカードカバーを閉められないため、ACアダプターのコードを引っ張らないようにご注意ください。コードが引っ張られると電源の接続状態が不良になり、電源がOFFしてしまいます。
水中スピードライト	水中スピードライトSB-N10 COOLPIX AW130に装着するには、水中光ファイバーケーブルアダプターSR-CP10A(別売)、水中光ファイバーケーブルSC-N10A(別売)、および水中ブラケットSK-N10A(別売)が必要です。カメラへの装着方法→□183

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめの上、お買い求めください。

※2 日本国内専用電源コード(AC 100 V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

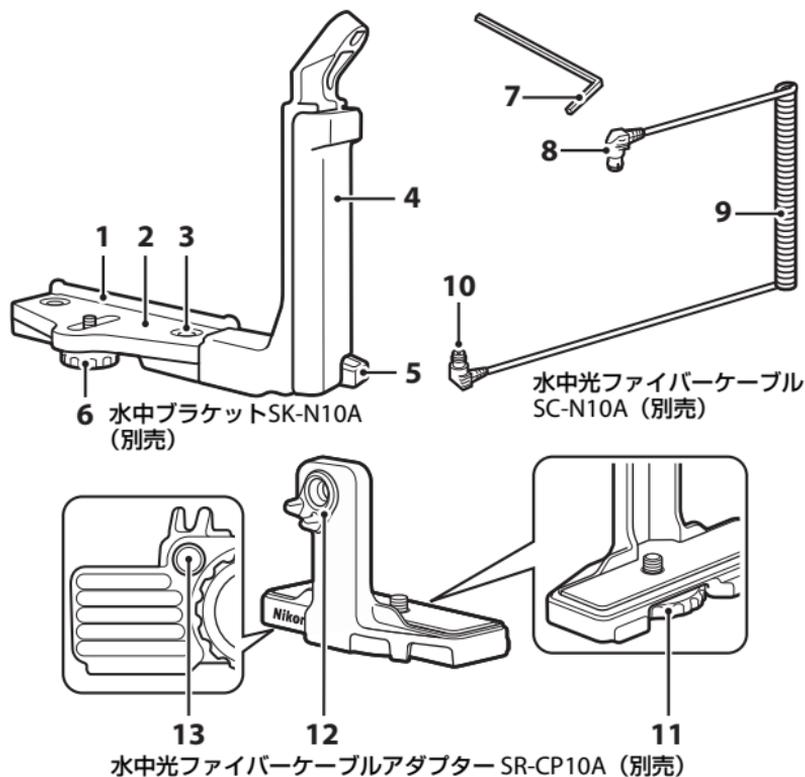
また、オンラインショップ(ニコンダイレクト) <http://shop.nikon-image.com/>でもお買い求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。

アクセサリの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどをご確認ください。

水中スピードライトの装着方法

COOLPIX AW130に水中スピードライトSB-N10を装着して水中でフラッシュ撮影ができます。撮影するときはセットアップメニューの[水中フラッシュ] (P126) を [する] にしてください。



1 固定ガイド

2 ステア

3 グリップ固定ネジ

4 グリップ

5 ストラップフック

6 ケース/アダプター固定ネジ

7 M4六角レンチ

8 コネクター (SB-N10接続側)

9 ケーブル

10 コネクター (SR-CP10A接続側)

11 カメラ固定ネジ

12 光ファイバーコネクター

13 アダプター固定ネジ穴

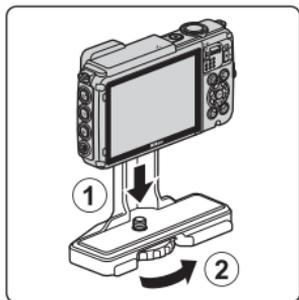
必ず、水中スピードライトおよびカメラの電源がOFFの状態で作業を行ってください。

1 カメラを、水中光ファイバーケーブルアダプターに取り付ける

- カメラの三脚ネジ穴にアダプターのカメラ固定ネジを合わせ、しっかり締めて固定します。

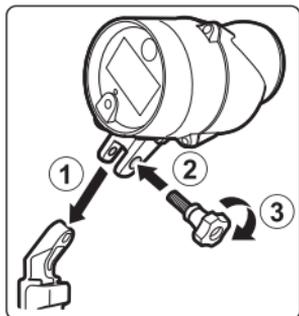
ご注意

カメラ固定ネジを三脚ネジ穴に合わせるときは、斜めにねじ込んだり、無理な力をかけたりしないでください。三脚ネジ穴が破損する場合があります。



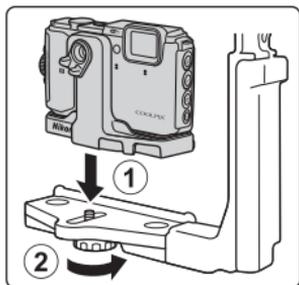
2 水中ブラケットのグリップに、水中スピードライトを取り付ける

- 水中スピードライトの固定ボルトをしっかり締めて固定します。



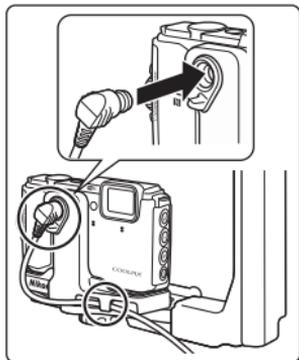
3 カメラを取り付けたアダプターを、水中ブラケットに取り付ける

- アダプター固定ネジ穴に、ブラケットのケース/アダプター固定ネジを合わせ、アダプターとブラケットが動く程度に軽く締めます。



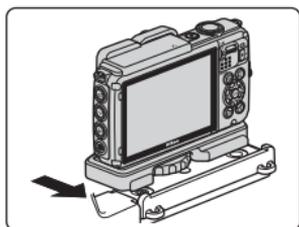
4 水中光ファイバーケーブルを、アダプターに取り付ける

- ケーブル直線部が長い方のコネクター（SR-CP10A接続側）を、アダプターの光ファイバーコネクターに差し込みます。
- コネクターを差し込んだら、アダプターの溝（2箇所）にケーブルを通します。

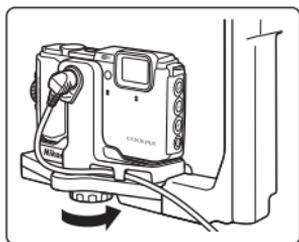


5 カメラとケーブルを取り付けたアダプターを、ステーの固定ガイドに当たるまでスライドさせる

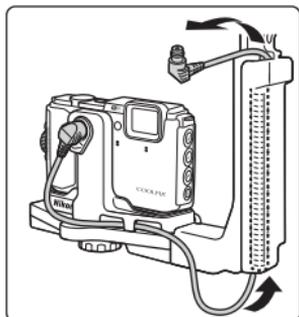
- ケーブルがアダプターの溝から外れないようにご注意ください。



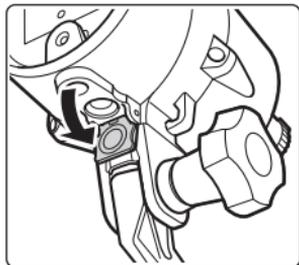
6 ブラケットのケース/アダプター固定ネジを締めて、アダプターを固定する



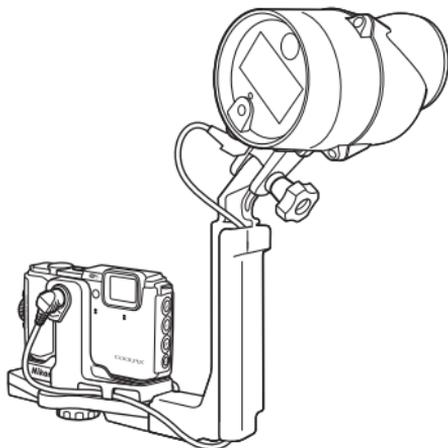
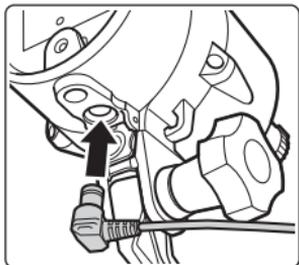
7 ブラケットのグリップ内に、水中光ファイバーケーブルを下側から上側に向かって通す



- 8 水中スピードライトのセンサーカバーを開く



- 9 コネクター（SB-N10 接続側）を水中スピードライトの光ファイバーソケットにしっかりと差し込む



- 水中スピードライトやカメラを水中ブラケットから取り外す場合は、逆の手順で行ってください。

地図・地名情報データ使用許諾契約書

COOLPIX AW130（以下「本製品」という）に搭載されている地図データ及び地名情報データ（以下「本データ」という）は、次の条件で、ご使用頂けます。

データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定

株式会社ニコン（以下「ニコン」という）又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項

お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。

- (1) サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用する。
- (2) インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
- (3) 測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- (4) 本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。
- (5) 本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。
- (6) 法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
- (7) 本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
- (8) その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告

時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権

本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責

ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他

本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとし、本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

Government End Users.

If the Data supplied by HERE is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:

Notice of Use

Contractor (Manufacturer/ Supplier) Name: HERE

Contractor (Manufacturer/Supplier) Address:

425 West Randolph Street, Chicago, Illinois 60606

This Data is a commercial item as defined in FAR 2.101 and is subject to the End-User Terms under which this Data was provided.

©2014 HERE - All rights reserved.

If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify HERE prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●地図・地名情報データについて



本サービスは株式会社ゼンリンの地図データおよびPOI（位置情報）を使用しています。“ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

© 2014 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用した。

（承認番号 平26情使、第244－B8号）

標高データ

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。

（承認番号 平24情使、第322号）

●日本以外の地図・地名情報データについて



Maps for Life

© 1987-2014 HERE

All rights reserved.

Austria: © Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen

Belgium: © - Distribution & Copyright CIRB

Croatia/Cyprus/Estonia/Latvia/Lithuania/Moldova/Poland/Slovenia/Ukraine: © EuroGeographics

Denmark: Contains data that is made available by the Danish Geodata Agency (FOT) Retrieved by HERE 01/2014

Finland: Contains data from the National Land Survey of Finland Topographic Database 06/2012. (Terms of Use available at http://www.maanmittauslaitos.fi/en/NLS_open_data_licence_version1_20120501).

Contains data that is made available by Itella in accordance with the terms available at http://www.itella.fi/liitteet/palvelutjatuoitteet/yhteystietopalvelut/uusi_postal_code_services_service_description_and_terms_of_use.pdf. Retrieved by HERE 09/2013

France: source: © IGN 2009 – BD TOPO ©

Germany: Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen. Contains content of „BayrischeVermessungsverwaltung – www.geodaten.bayern.de“, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains content of "LGL, www.lgl-bw.de", licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains content of "Stadt Köln – offenedaten-koeln.de", licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains Content of "Geoportal Berlin / ATKIS® Basis-DLM", licensed in accordance with <http://www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzl3.pdf>

Contains Content of "Geoportal Berlin / Karte von Berlin 1:5000 (K5-Farbausgabe)", licensed in accordance with <http://www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzl3.pdf>

Great Britain: Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010
Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010

Greece: Copyright Geomatics Ltd.

Italy: La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.

Contains data from Trasporto Passeggeri Emilia-Romagna- S.p.A.

Includes content of Comune di Bologna licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> and updated by licensee July 1, 2013.

Includes content of Comune di Cesena licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> and updated by licensee July 1, 2013.

Includes contents of Ministero della Salute, and Regione Sicilia, licensed under <http://www.formez.it/iodl/> and updated by licensee September 1, 2013.

Includes contents of Provincia di Enna, Comune di Torino, Comune di Pisa, Comune di Trapani, Comune di Vicenza, Regione Lombardia, Regione Umbria, licensed under <http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/> and updated by licensee September 1, 2013.

Includes content of GeoforUs, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>.

Includes content of Comune di Milano, licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/it/legalcode> and updated by licensee November 1, 2013.

Includes content of the "Comunità Montana della Carnia", licensed under <http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/> and updated by licensee December 1, 2013.

Includes content of "Agenzia per la mobilità" licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> and updated by licensee January 1, 2014.

Includes content of Regione Sardegna, licensed under <http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/> and updated by licensee May 1, 2014.

Includes content of CISIS, licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/legalcode>.

Norway: Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority

Includes data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD), available at <http://data.norge.no/nlod/en/1.0>

Contains information copyrighted by © Kartverket, made available in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/no/>.

Contains data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD) distributed by Norwegian Public Roads Administration (NPRA)

Portugal: Source: IgeoE – Portugal

Spain: Información geográfica propiedad del CNIG

Contains data that is made available by the Generalitat de Catalunya Government in accordance with the terms available at http://www.gencat.cat/web/eng/avis_legal.htm. Retrieved by HERE 05/2013.

Contains content of Centro Municipal de Informatica – Malaga, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>.

Contains content of Administración General de la Comunidad Autónoma de Euskadi, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains data made available by the Ayuntamiento de Santander, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/es/legalcode.es>

Contains data of Ajuntament de Sabadell, licensed per <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>, updated 4/2013

Sweden: Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.

Contains public data, licensed under Go Open v1.0, available at <http://data.goteborg.se/goopen/Avtal%20GoOpen%201.0.0.pdf>

Switzerland: Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie

United Kingdom: Contains public sector information licensed under the Open Government Licence v1.0 (see for the license <http://www.nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/>)

Adapted from data from the office for National Statistics licensed under the Open Government Licence v.1.0

Canada: This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.

Mexico: Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

United States: ©United States Postal Service® 2013. Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®. The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4.

Includes data available from the U.S. Geological Survey.

Australia: Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.pasma.com.au).

Product incorporates data which is © 2013 Telstra Corporation Limited, Intelomatics Australia Pty Ltd and HERE International LLC.

Nepal: Copyright © Survey Department, Government of Nepal.

Sri Lanka: This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka

© 2009 Survey Department of Sri Lanka

The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka

Israel: © Survey of Israel data source

Jordan: © Royal Jordanian Geographic Centre.

Mozambique: Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2013 by Cenacarta

Nicaragua: The Pacific Ocean and Caribbean Sea maritime borders have not been entirely defined. Northern land border defined by the natural course of the Coco River (also known as Segovia River or Wangki River) corresponds to the source of information available at the moment of its representation.

Réunion: source: © IGN 2009 - BD TOPO ©

Ecuador: INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO
AUTORIZACION N° IGM-2011-01-PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011

Guadeloupe: source: © IGN 2009 - BD TOPO ©

Guatemala: Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN No 186-2011

French Guiana: source: © IGN 2009 - BD TOPO ©

Martinique: source: © IGN 2009 - BD TOPO ©

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX AW130

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1605万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1676万画素
レンズ	光学5倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-21.5 mm（35 mm判換算24-120 mm相当の撮影画角）
開放F値	f/2.8-4.9
レンズ構成	10群12枚（EDレンズ2枚）
電子ズーム倍率	最大4倍（35 mm判換算で約 480 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能	レンズシフト方式と電子式の併用
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">• 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞（広角側）、約 50 cm ~∞（望遠側）• マクロモード時は先端レンズ面中央から約 1 cm ~∞（広角側）
AFエリア	顔認識オート、マニュアル（99点）、中央、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
画像モニター	広視野角3型有機ELモニター、反射防止コート付き、約 92万ドット 輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約473 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ）

記録画素数 (画像モード)	<ul style="list-style-type: none"> • 16M (高画質) [4608×3456★] • 16M [4608×3456] • 8M [3264×2448] • 4M [2272×1704] • 2M [1600×1200] • VGA [640×480] • 16:9 (12M) [4608×2592] • 1:1 [3456×3456]
ISO感度 (標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 125 ~ 1600 • ISO 3200、6400 (オート撮影モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光 (電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • 1/1500 ~ 1 秒 • 1/4000 秒 (高速連写時の最高速) • 4 秒 (シーンモードの [打ち上げ花火])
絞り	電磁駆動による絞り開口 (-1 AV) およびNDフィルター (-2 AV) 選択方式
制御段数	3 (f/2.8、f/4.1、f/8.2 [広角側])
セルフタイマー	10秒、2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約 0.5~5.2 m (広角側) 約 0.5~4.5 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子 (付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB <ul style="list-style-type: none"> • ダイレクトプリント (PictBridge) 対応
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子 (Type D)

Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
通信距離	約 10 m
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11 ch)
データ転送速度 (実測値)	IEEE 802.11b : 5 Mbps IEEE 802.11g : 17 Mbps IEEE 802.11n : 17 Mbps
セキュリティー	OPEN/WPA2
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
電子コンパス	16方位 (3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、自動偏角補正付き、自動オフセット調整機能付き)
位置情報機能	<ul style="list-style-type: none"> • GPS : 受信周波数 : 1575.42 MHz、測地系 : WGS 84 • GLONASS : 受信周波数 : 1598.0625 MHz ~ 1605.3750 MHz、測地系 : WGS 84
気圧計	表示範囲 : 約500~4600 hPa
高度計	表示範囲 : 約-300~+4500 m (-984~+14760 ft)
水深計	表示範囲 : 約0~35 m (0~114 ft)
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12 (リチウムイオン充電電池 : 付属) x1個 ACアダプター EH-62F (別売)
充電時間	約 2時間20分 (本体充電ACアダプター EH-71P/ EH-73P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命^{※1}	
静止画撮影時	約 370コマ (EN-EL12使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命)^{※2}	約1時間10分 (1080/30p、EN-EL12使用時) 約1時間20分 (1080/25p、EN-EL12使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 110.4×66.0×26.8 mm (突起部除く)
質量	約 221 g (電池、メモリーカード含む)

動作環境	
使用温度	-10℃～+40℃（陸上） 0℃～40℃（水中）
使用湿度	85%以下（結露しないこと）
防水性能	JIS/IEC 保護等級 8（IPX8）相当（当社試験条件による）水深30 m、60分までの撮影が可能
防じん性能	JIS/IEC 保護等級 6（IP6X）相当（当社試験条件による）
耐衝撃性能	MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件（※3）をクリアー

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電電池使用時のものです。
- ※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※3 高さ210 cmから厚さ5 cmの合板に落下させます（落下衝撃部分の塗装剥離、変形など外観変化、防水性能は不問とします）。すべての条件での無破壊、無故障を保證するものではありません。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 32×43.8×7.9 mm
質量	約 22.5 g

本体充電ACアダプター EH-71P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	10.5～15.5 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 48 g

本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	12～18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 51 g

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

推奨メモリーカード

下記のメモリーカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード	SDXCメモリーカード
SanDisk	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	-	8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

- 上記メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のメモリーカードは、動作の保証をいたしかねます。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2015 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

索引

マーク・英数

おまかせシーンモード.....	12、21
シーンモード.....	23
スペシャルエフェクトモード.....	33
ベストフェイスモード.....	34
ショートムービーショーモード.....	38
オート撮影モード.....	42
再生モード.....	15
撮影日一覧モード.....	61
Wi-Fi 設定メニュー.....	78、108、147
位置情報設定メニュー.....	78、110
セットアップメニュー.....	78、119
T 望遠ズーム.....	14
W 広角ズーム.....	14
Q 拡大表示.....	59
サムネイル表示.....	60
ヘルプ.....	23
撮影モードボタン.....	2、18
再生ボタン.....	2、15
(動画撮影) ボタン.....	19、38、71
MENU メニューボタン.....	2、70、78
決定ボタン.....	2
削除ボタン.....	2、16
フラッシュモード.....	44
セルフタイマー.....	46
マクロモード.....	47
露出補正.....	48
地図ボタン.....	2、132、136、138
Wi-Fi ボタン.....	2、147、149
アクションボタン.....	2、20
N Nマーク.....	1、147
1 コマ表示.....	15
ACアダプター.....	150、182
AF エリア.....	4、13、51
AF エリア選択.....	88、104
AF 表示.....	3、13

AF 補助光.....	125
AF モード.....	91、105
A-GPS ファイル.....	110
D- ライティング.....	66
EH-71P/EH-73P.....	196
EN-EL12.....	196
HDMI ケーブル.....	151、152
HDMI マイク端子.....	1、150、152
HDR.....	26
HS 動画.....	101、103
ISO 感度.....	87
Li-ion リチャージャブルバッテリー.....	196
Micro-USB 端子.....	1、150
NFC.....	1、147、149
Nikon Transfer 2.....	158
PictBridge.....	151、153
POI 設定.....	113、135
SD メモリーカード.....	6、163、197
USB ケーブル.....	8、151、153、157
ViewNX 2.....	157
Wi-Fi OFF.....	108、148
Wi-Fi 設定メニュー.....	78、108、147
Wi-Fi 送信画像の指定.....	94、149
Wireless Mobile Utility.....	146

ア

赤目軽減自動発光.....	45
赤目補正.....	66
アクション画像送り.....	20、127
アクション操作.....	20
アクション操作の感度.....	127
アクション地図操作.....	20、128
アクションボタン.....	2、20
圧縮率.....	80
位置情報設定.....	110、132
打ち上げ花火	23、26
衛星による日時合わせ.....	115
笑顔自動シャッター.....	35
オート撮影モード.....	18、42

オートパワーオフ	13、128
オートフォーカス	51、73、91、105
おまかせシーンモード	12、21
音量	40、75

カ

カードの初期化	6、129
顔認識オート	88、104
顔認識撮影	51
拡大表示	59
風切り音低減	107
画像回転	96
画像コピー	97
画像サイズ	80
画像編集	64
画像モード	80
カメラ内画像の送信	108、149
画面の明るさ	121
カレンダー表示	60
かんたんパノラマ 	23、30
かんたんパノラマ再生	32
簡単レタッチ	65
感度制限オート	87
気圧表示	140
逆光 	23、26
強制発光	45
距離計算	112
距離単位	111
記録可能コマ数	11、81
記録可能時間	71、72
クイックエフェクト	64
組み合わせて使えない機能	56
クリエイティブスライダー	43
クローズアップ 	23、25
クロスプロセス 	33
蛍光灯	82
言語 / Language	129
現在の設定	108
広角ズーム	14
光学ズーム	14
高速連写	84
硬調モノクローム 	33
高度 / 水深設定	118

高度計	140
高度表示	140
高度ログ	141、145

サ

再生	15
再生メニュー	78、94
再生モード	15
先取り撮影	84、86
削除	16、63
撮影	12、18
撮影回数	92
撮影間隔	92
撮影後の画像表示	121
撮影日一覧モード	61
撮影メニュー	78、80
撮影モード	18
サマータイム	10、11、119
サムネイル表示	60
三脚ネジ穴	2、194
シーンモード	23
時差	119
自動発光	45
絞り値	14
シャッター音	126
シャッター音の設定	92
シャッタースピード	14
シャッターボタン	1、14
充電器	9、182
充電ランプ	2、8
ショートムービーショーメニュー	38、78
ショートムービーショーモード	38
常時 AF	91、105
情報合成画像	68
初期化	6、129
シングル AF	91、105
ズーム	14
ズームレバー	2、14
水深計	140
水深表示	140
水深ログ	141、145
水中 	23、27
水中フラッシュ	126、183

ストラップ.....ii	トイカメラ風 1 33
ストラップ取付け部.....1、2	トイカメラ風 2 33
スピーカー.....2	動画撮影.....19、71
スペシャルエフェクトモード.....33	動画撮影中の静止画記録.....74
スポーツ 23、24	動画照明.....106
スマートデバイスと接続...108、147	動画設定.....100
スモールピクチャー.....69	動画手ブレ補正.....106
スライドショー.....95	動画編集.....75、76
スローシンクロ.....45	動画メニュー.....78、100
スローモーション撮影.....101、103	トリミング.....70
静止画手ブレ補正.....124	トワイライト 23
晴天.....82	曇天.....82
接写.....47	
設定.....108	ナ
設定音.....126	内蔵メモリー.....7
設定クリアー.....131	内蔵メモリーの初期化.....129
設定の初期化.....108	内蔵メモリー表示.....4、5
セットアップメニュー.....78、119	夏時間.....10、11、119
セルフコラージュ.....36、92	日時の設定.....10、119
セルフタイマー.....46	ノスタルジックセピア SEPIA.....33
セルフタイマーランブ.....1、35、46	
セレクトカラー 33	ハ
操作音.....126	バージョン情報.....131
ソフト SOFT.....33	パーティー 23、24
	パソコン.....151、157
	パソコン接続充電.....130
	発光禁止.....45
	バッテリーチャージャー.....9、182
	半押し.....14
	ビーチ 23
	ヒストグラム表示.....43、48
	日付写し込み.....123
	日付の表示順.....10、119
	日付のプリント.....123
	美肌.....52
	ピント.....51、88、104
	ファイル名.....180
	風景 23
	フォーカスロック撮影.....55
	フォーマット.....129
	フラッシュ.....1、44
	フラッシュモード.....44、45
	フラッシュランプ.....2、44
	プリセットマニュアル.....83
タ	
ターゲット追尾.....89、90	
ターゲットファインド AF.....53、89	
タイムゾーン.....11、119	
タイムラプス動画 23、28	
ダイレクトプリント.....153	
単写.....84	
地域と日時.....10、119	
地図表示.....132、144	
テレビ.....151、152	
電球.....82	
電源スイッチ / 電源ランプ.....1、10	
電子コンパス設定.....116	
電子ズーム.....14、125	
電池.....6、8、11	
電池 / メモリーカードカバー.....1、6	
電池残量表示.....11	
電池室.....182	
電池ロックレバー.....6	

プリンター	151、 153	ログ取得	114、 141
プリント	151、 154、 155	ログデータ表示	115、 144、 145
フレームレート設定	107	露出補正	48
プロテクト設定	96		
ベストフェイスメニュー	78、 92		
ベストフェイスモード	34		
別売アクセサリ	182		
ペット 	23、 27		
ペット自動シャッター	27		
ヘルプ	23		
ポートレート 	23		
望遠ズーム	14		
ポップ POP	33		
ホワイトバランス	82		
本体充電 AC アダプター	196		

マ

マイク (ステレオ)	1
マクロモード	47
マルチセクター	2、 78
無線 LAN	146
メイクアップ効果	34、 67
目つぶり軽減	93
メモリーカード	6、 163、 197
メモリーカードスロット	6
メモリーカードの初期化	6、 129
メモリーの初期化	129
モニター	2、 3、 164
モニター設定	121
モニター表示設定	121

ヤ

夜景 	23、 25
夜景ポートレート 	23、 24
夕焼け 	23
雪 	23
用紙設定	154、 155

ラ

陸上専用ストラップ	ii
料理 	23、 25
連写	84
連写グループ表示方法	62、 98
レンズ	1、 192

ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていきます。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル2階

営業時間：10:30～18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー13階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)



ニコンプラザショールーム(銀座・新宿・名古屋・大阪)ナビダイヤル

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター(銀座・新宿・名古屋・大阪)ナビダイヤル

0570-02-8060

音声ガイドランスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ・ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター(03)6702-0577におかけください。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内(製造打ち切り後5年を目安)を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- 修理センターについては以下で、ニコンプラザサービスセンターについては、前ページでご案内しています。
- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください（内蔵メモリーがあるカメラでは、メモリー内のデータが消去される場合があります）。
- 補修用性能部品と修理可能期間については、前ページをご覧ください。

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。
- ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。



修理センター ナビダイヤル

0570-02-8200

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、カスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

■ニコンピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

<インターネットでのお申込み>

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコンピックアップサービス」のお申し込み、見積もり金額やインターネットで申し込んだ修理の進捗状況や納期などの確認ができます。

<フリーダイヤルでのお申込み>



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

製品の使い方に関するお問い合わせ

■ニコン カスタマーサポートセンター

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

- ・ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。
- ・ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。

■お問い合わせ時のお願い

- ・おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ソフトウェアのトラブルは、おわかりになる範囲で「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OS名およびバージョン」、「CPU名およびメモリー容量」、「セキュリティーソフトウェア名」、「問題発生時の操作手順と症状」、エラーメッセージが表示されていたらメッセージ内容などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ファクシミリや郵送でのお問い合わせは、「ご住所」、「お名前（フリガナ）」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

ニコンイメージング（ウェブサイト）/サポートページ

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

※修理に関するお問い合わせは、前ページの「修理サービスのご案内」もご参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**